

(案)

令和6年11月19日
定例教育委員会資料
教育支援課指導係

令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果

海老名 小学校
柏ヶ谷 小学校
有 鹿 小学校
有 馬 小学校
大 谷 小学校
上 星 小学校
中新田 小学校
門沢橋 小学校
東柏ヶ谷小学校
社 家 小学校

杉久保 小学校
今 泉 小学校
杉 本 小学校
海老名 中学校
有 馬 中学校
海 西 中学校
柏ヶ谷 中学校
大 谷 中学校
今 泉 中学校

(案)

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和6年12月
海老名市立海老名小学校**

令和6年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語、算数)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

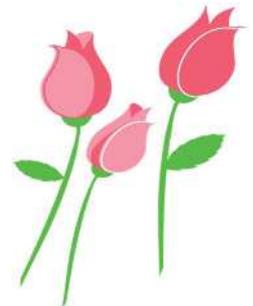
(2)生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和6年4月18日(木)

※児童生徒質問調査について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方。

◆課題のある点

- 人物像や物語の全体像を具体的に想像すること。
- 表現の効果を考えて文章にまとめること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 目的や意図に応じて、短い文章や図から情報を受け取り、理解することを得意とする一方で、自分の考えをまとめることや与えられた条件に合わせて発信することには課題が残るという傾向がみられた。このことから、日頃の学習の中で、自分の考えや学習のまとめを書く際に、キーワードを示したり、書き方の型を示したりすることで、自分の考えを文章にまとめる経験を積ませていく。また、よりよい文章や表現を模範例として示し、全体で共有することで、学びを深める。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の關係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置關係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の關係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 示された場面に合致した四則を組み合わせた式を立てたり、二つの数量の比例關係から未知の数量を求める式を立てたりして、計算処理をすること。
- 基本的な図形の概念を用いて立体体を作図したり、球体の図形の要素を用いて体積を計量したりすること。

◆課題のある点

- 複数のグラフ・表などから読み取った情報を比較する問題の無回答率が高い。粘り強く資料を分析し、題意に合う解答を検討すること。
- 場面を示す図や、複数のグラフ・表などから読み取った情報を比較し、考察したことを言葉や数を用いて説明すること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 課題解決の為の条件が明示されている数学的事象に対する計算処理・図形処理は比較的できている一方で、複数の情報を合わせて考察したり、説明したりすることについては課題が見られた。このことから、問題解決の過程を説明したり、式・言葉・表・グラフなどの複数の情報を用いて解釈させたりする活動を通して既習の知識を応用する機会を増やすよう改善していく。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「英語の勉強は好き」「英語の勉強は大切」「英語の授業の内容はよく分かる」と答えた児童の割合が全国平均より高く、外国語・外国語活動に意欲的に取り組もうとする児童が多いことがわかる。
- 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」と答えた児童の割合が高い。友達の意見に関心をもち、考えることに前向きな児童が多いことがわかる。

◆本校の課題と思われるところ

- 国語の授業では「違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理している」「目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いている」と答えた児童の割合が少ない。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「新聞を読んでいる」と回答する児童が全国平均より高い。世の中の動きや生活に役立つ情報など社会に対して関心をもったり、新しい教養や知識を得ることに時間を費やしたりしていることがわかる。

◆本校の課題と思われるところ

- 「自分には、良いところがある」と答える児童の割合が全国平均より低い。
- 「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている」と答える割合が少ない。

今後の具体的な取組について

- 友達の意見に関心をもち、考えることに前向きな児童が多いことから、授業の中で対話的な学び合いの場を引き続き設定し、他者の価値観を認めながら学びを深め、自尊心を高めていく。
- 結果のみに焦点を当てるのではなく、そこに至る頑張りや努力の過程から、自分の良さに気づき、喜びを感じたり、自己肯定感や自己有用感を高めたりできる環境を作っていく。

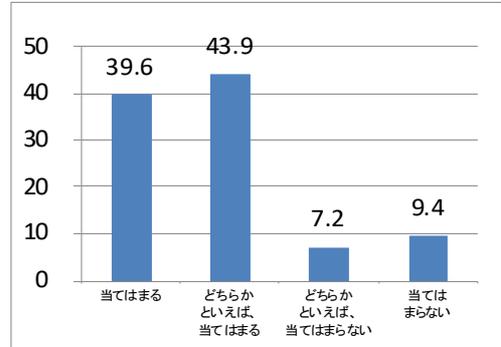
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1

子どものよいところをたくさん伝えていきましょう。

自分のよさを知り、自分を認めることは、心を強くし、自己肯定にもつながります。これからの時代をたくましく生きていく力を育むために、子どものよいところを認め、伝えていきましょう。

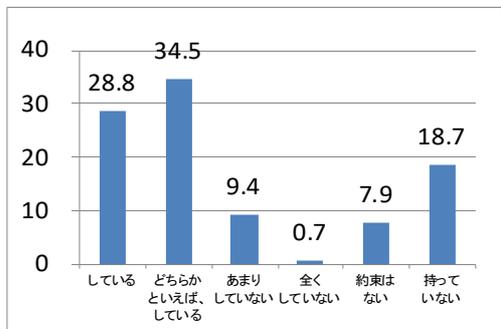


自分には、よいところがあると思いますか

2

情報利用についてのルールを家庭でも確認しましょう。

ご家庭でもインターネットを利用する機会が増えてきています。情報利用についてのルールを決めて、安全に正しく使用するようにしましょう。

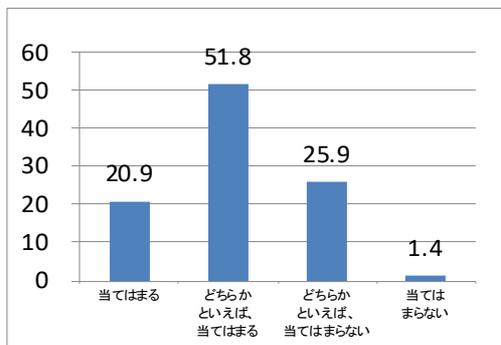


携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

3

子どもの自発的な学びを見守り、励ましましょう。

自発的な行動は、子どもの心の充実や自信となり「自ら考えて行動する力」を育みます。子どもの興味や関心のあることなど、一緒に話をしたり考えたりしましょう。

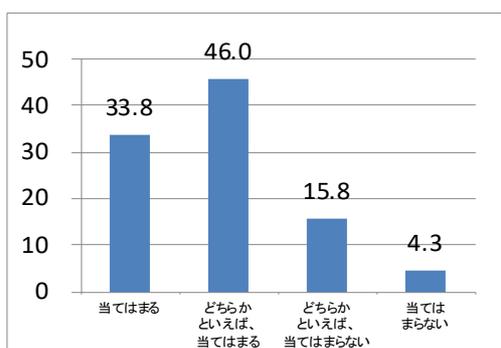


分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

4

相手の言葉を受け止め、考えや気持ちを自分の言葉で表現できるようにしましょう。

自分の言葉で適切に表現する力、相手の言葉を正しく理解する力は、これからの社会を豊かに生きる力になります。色々な人の考えにふれ、自分の考えを深めることができるようにしましょう。



自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和6年度までの調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

2. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 授業改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

3. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

4. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 自治体・学校への伴奏支援の取組
- 学校の ICT 環境整備の推進
- 校務 DX の推進
- 学校の ICT 環境を活用した取組

5. 教師を取り巻く環境整備

- 学校の指導・運営体制の充実
- 教師の育成支援の一体的推進
- 教職員定数の改善や業務支援スタッフの充実に係る支援
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



キーワードは「**包摂性**」
誰ひとり取り残さない教育
実現をめざします



①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③みんなで取り組む学校づくりの推進

《①授業改善の実践》

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- こどもたちが主体的に学習に取り組むために、よりよい学習計画の在り方についての研究に取り組みます
- 「協働的な学び」の実践を重点として、授業改善の研究に取り組むとともに、「個別最適な学び」の実践も積み重ねます
- 教職員が主体的に学ぶ研修の場の充実を図ります。

【市の結果についての問い合わせ先】
海老名市教育委員会教育支援課 指導係
電話 046-235-4919

(案)

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



令和6年12月

海老名市立柏ヶ谷小学校

小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるか」という問題では、県・全国の正答率を上回りました。国語科だけでなく、社会科・理科・総合的な学習の時間の活動を通して、情報の内容を読み取り、共通点などを見つける力が身につけてきたと考えられます。
- 「話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるか」という問題では、県・全国の正答率を上回りました。国語科を中心とした学校生活の全ての伝え合う活動を通して、相手に伝えるための上手な話し方が身につけてきたと考えられます。

◆課題のある点

- 「目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるか」という問題では、県・全国の正答率を下回りました。また、「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるか」という問題でも、県・全国の正答率を下回りました。このことから、「目的や意図に応じて」情報を整理したり、「目的や意図に応じて」自分の考えを文章で表現したりすることに課題があると考えられます。
- 「登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるか」という問題では、県の正答率を下回るとともに、無回答率が県・全国の無回答率を上回りました。加えて、「人物像を具体的に想像することができるか」という問題でも、無回答率は県・全国の無回答率を上回りました。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 「目的や意図に応じて」情報を整理したり、文章で表現したりする力をつけるために、目的や意図を明確にした授業づくりを心がけます。また、自分が書いた文章や成果物が、目的や意図に即しているかをふり返る活動を適宜取り入れるようにします。
- 物語文における児童の読解力をつけるために、音読活動を効果的に取り入れたり、叙述と自分の生活体験を結び付けて登場人物の相互関係や心情を考えさせたりする授業づくりを心がけます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の關係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置關係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の關係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 「直径の長さ、円周の長さ、円周率の關係について理解しているか」や「角柱の底面や側面に着目し五角柱の面の数とその理由について記述できるか」という問題では、県や全国の正答率を大きく上回っていました。円柱や角柱の展開図や円周の求め方を正確に理解している児童が多いです。
- 「計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考慮し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるか」という問題では、県・全国の正答率を大きく上回りました。示された図や式を基に問題を正確に理解し、式や言葉を使って説明できる児童が多いです。

◆課題のある点

- 「除数が小数である場合の除法」の計算では、県・全国の正答率を下回りました。除数が小数のわり算の計算を苦手とする児童が多いです。
- 「速さが一定であることを基に、道のりと時間の關係について考察できるか」という問題では、県・全国の正答率を下回りました。問題文を読み取って問題場面の状況や問われていることを整理し、答えることを苦手とする児童が多いです。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 「除数が小数である場合の除法」の計算を正確にする力をつけるために、授業中に計算問題に取り組む時間を確保します。また、小数の除法だけでなく、整数・分数も含んだ四則計算が確実にできる力を身につけるために、朝のモジュール学習を効果的に活用して計算問題に取り組みます。
- 問題文を的確に読み取る力をつけるために、問題文から読み取ったことを、図やイラスト、表、数直線などに書き表したり、教師の発問で必要な情報を整理したりする時間を授業に取り入れます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「国語の授業は、将来、社会に出たときに役に立つ」と考えている児童が98%以上であるとともに、「与えられた情報を違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら整理している」児童が85%を超えています。
- 「算数の勉強は大切だと思いますか」の設問では、肯定的な回答が全国平均・県平均を上回っています。算数の必要性を理解して、学習に臨むことができている児童が多いです。

◆本校の課題と思われるところ

- 「自分と違う意見について考えるのは楽しい」の設問では、肯定的な回答が全国平均・県平均を下回っています。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「朝食を毎日、食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」児童が多く見られました。規則正しい生活習慣が定着していることがわかります。
- 「自分には、よいところがあると思いますか」の設問では、「よいところがあると思っている」児童が、90%を超えています。自己肯定感が高いことがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」の設問では、否定的な回答が全国平均・県平均を上回っています。

今後の具体的な取組について

- 校内研究で取り組んでいる国語科を中心に、互いの考えを伝え合い広げる活動を取り入れ、自分と異なる意見について考える楽しさを味わわせる授業づくりに努めます。
- 今年度から重点的に取り組んでいる異学年交流たてわり活動を通して、人とのかかわりの大切さや人のために行動することのよさを味わわせられるように努めます。

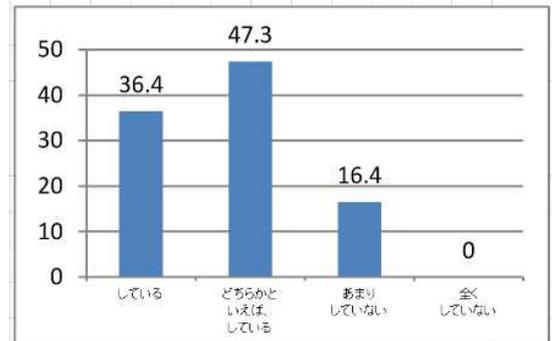
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1

引き続き、規則正しい生活習慣を心がけましょう。

「起床」「食事」「就寝」をほぼ毎日同じリズムで生活することは、日々の健やかさを保つことにつながります。引き続き、規則正しい生活リズムを意識して生活しましょう。

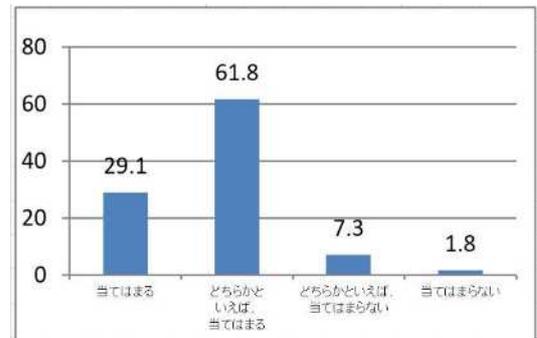


毎日、同じくらいの時刻に寝ています

2

ありのままの自分を好意的に受け容れましょう。

自己肯定感が高い状態は幸福感を得られやすいと言われています。規則正しい生活習慣を心がけるとともに、ありのままの自分を好意的に受け容れることで、心身ともに充実した生活を送りましょう。

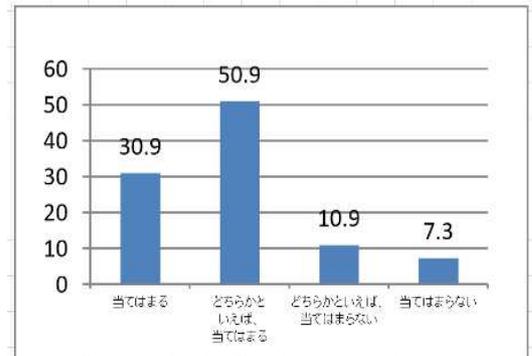


自分には、よいところがあると思いますか

3

地域の行事に参加してみたいかがでしよう。

「地域や社会をよくするために、何かしてみたい」と考える児童が年々増加しています。地域のお祭りや行事に参加して、地域や社会のためにできることを考える契機としましょう。

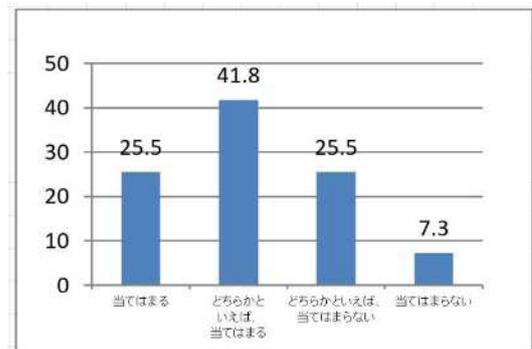


地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

4

自分と異なる考え方や生き方との出会いを大切にしましょう。

自分と違う意見や生き方との出会いは、自分自身の考えや生き方を見つめ直したり、広げたりするチャンスです。さまざまな「違い」を、肯定的に受け止められるように心がけましょう。



自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

(案)

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和6年 12月
海老名市立有鹿小学校**

小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 次の漢字を書く問題では、正答率が全国に比べて高かったことから、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができていることが分かりました。

・きょうぎ ⇒ 正) 競技 ・なげる ⇒ 正) 投げる

- 「読書記録に関する資料について」の問題から、日常的に読書に親しみ、自分の考えを広げる読みができていることが分かりました。

◆課題のある点

- 登場人物の心情について、適切なものを選ぶ問題では、正答率が全国に比べて低かったことから、次のことに課題があることが分かりました。

- ・登場人物の相互関係や心情などについて、本文の描写を基にとらえること。
- ・登場人物の心情が、相互関係に基づいた行動や会話、情景などを通して暗示的に表現されている場合において、想像を豊かにしながら読むこと。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 「文学的な文章を読む力」を育てるために、次のように取り組みます。

低学年	中学年	高学年
○挿絵を活用し、登場人物や場面の様子を想像しやすくする。	○人物や出来事の説明をしたり、考えたことなどを伝え合ったりする活動を取り入れる。	○登場人物の行動や会話、情景に注目し、分かったことを話し合ったり、文章にまとめたりする。
○オノマトペなど、イメージを身体で表すことを通して、語彙を増やしていく。	○読書カードを積極的に活用し、活字に触れる機会を増やすことで読むことに慣れ親しむ。	○本文の叙述を基に、行動描写と情景描写に着目して読み取る。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の關係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置關係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の關係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

○時間と道のりの關係について、正答率が全国に比べて高かったことから、時間と道のりが比例關係にあることや、道のりと時間、速さの關係をよく理解しているといえます。

- ・3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を求める。

◆課題のある点

○図形の問題では、次のような課題がありました。図形を構成する要素やそれらの位置關係について理解し、見取り図を描く力が不十分であるといえます。

- ・見取り図から対応する辺や面の關係を読み取ること。

今後の具体的な指導改善のポイント

○「図形について豊かな感覚」を育てるために、次のように取り組めます。

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none">○具体物に触れながら、その特徴を捉えられるようにする。○具体物の操作をしたり、観察したりすることを通して、そこから疑問を出し、追究をしていく活動を取り入れる。	<ul style="list-style-type: none">○定規、コンパス等を用いて、図形を描いたり、確かめたりする活動を取り入れる。○三角形や円などを基にして、模様を描く等の活動を取り入れる。	<ul style="list-style-type: none">○作図や見取り図を書く際は、図形を構成する要素を意識して取り組めるようにする。○対称や合同など、実際に書く活動を通して、二つの図形を構成する要素どうしの關係に着目できるようにする。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

○次の質問では「当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均に比べ、かなり高い結果となりました。

5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

授業の中で、自分の考えを発表する機会や、発表する際に自ら工夫できる場が用意されており、多くの児童が発表する課題に対して主体的に取り組んでいたことが分かります。

◆本校の課題と思われるところ

○次の質問では「当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均を上回っていますが、他の回答に比べて割合が低い結果となりました。

算数の授業の内容はよく分かりますか。

分からない問題をそのままにすることなく教師や友だちにアドバイスをもらって粘り強く課題に取り組めるように改善していく必要があります。

生活について

◆本校のよかったところ

○次の質問では「当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均に比べ、かなり高い結果となりました。

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。

交換授業や教科担任制を行い、たくさんの教師と関わっていることから、自分が話しやすい相手に相談することができ、学校生活に安心感をもっている児童が多いことが分かります。

◆本校の課題と思われるところ

○次の質問では「当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均に比べ、低い結果となりました。

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることは、どれくらいありますか。

普段の生活の中で充足感をもっていない児童が一部いることから、日頃から児童の様子や変化を注意深く観察し、適切な支援を行っていく必要があります。

今後の具体的な取組について

○「前向きな考え方や気持ち」を育てるために、次のように取り組みます。

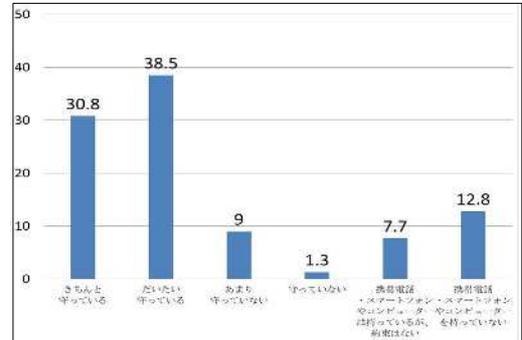
低学年	中学年	高学年
○小さな幸せに気付き、素直に表現していることを大いに認め、共感していく。	○「ハッピー、サンキュー、ナイス」など自分が幸せに思ったことを話す場をつくり、他者と共有していく。	○結果だけでなく、過程に価値付ける意識をもてるようにしていく。
○児童ができたことを認め価値付けをする。自信をもつことで行動していくプラスのスパイラルを促していく。	○「今日のきらり」「天使カード」など互いの良さを認め合う場をつくっていく。	○道徳教育を通して、小さな「当たり前の幸せ」に気付けるよう、意識を向けさせていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1 約束を守りましょう

トラブルや事件、犯罪に巻き込まれず安全な生活を送るためにも、携帯電話等の使い方や遊び方の約束を守りましょう。また、携帯電話に限らず、ご家庭で決められている約束を子どもと確認し、守れるようにしましょう。

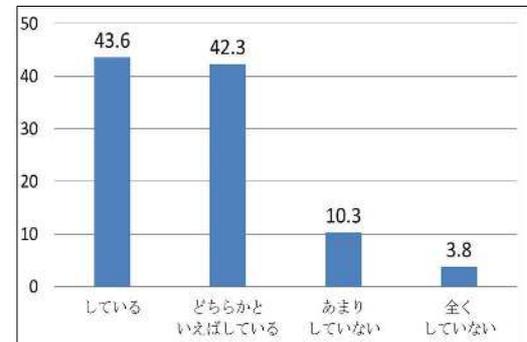


携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことをまもっていますか

2 規則正しい生活を送り

睡眠の質を上げましょう

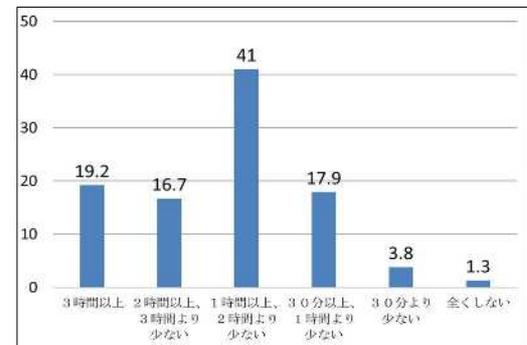
毎日の生活リズムを整えることで、質のよい睡眠をとることができます。睡眠時の脳内では、その日に学んだことを整理し、記憶をしています。つまり、よく睡眠をとることで、学習効果を高めることにつながります。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

3 計画的に勉強をする習慣をつけましょう

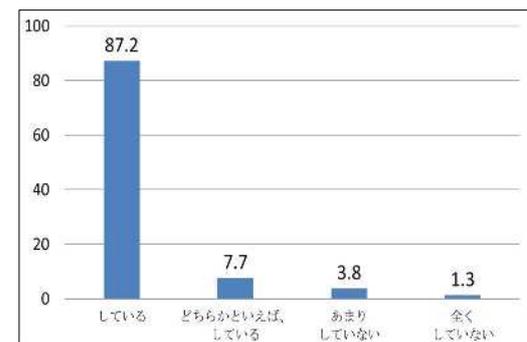
計画的に勉強をする習慣を付けることで、学校で行った学習の理解につながるとともに、計画性が養われます。自分で学習のスケジュールを作り、取り組むことで自己管理能力を高めることにつながります。



学校の授業以外に普段1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか

4 朝食は、1日の元気の源です しっかり食べましょう

朝ごはんを食べることで、脳や内臓にエネルギーが供給され、体温が上がり、頭がはっきりとします。文部科学省の調査でも、朝食を毎日食べる子どもの方がテストの正答率が高いという結果が出ています。



朝食を毎日食べていますか

(案)

令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果



令和6年12月

海老名市立有馬小学校

小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 自分の考えが伝わるような表現の工夫として、話し言葉と書き言葉の違いに気付き、相手に伝わりやすい話し方を選択肢の中から適切に選ぶことができます。
- 目的や意図に応じて、集めた情報をどのように整理しているかを読み取り、伝える内容を検討することができます。
- 情報の関連付けの仕方や、図などによる関係の表し方を選択肢の中から適切に選ぶことができます。

◆課題のある点

- 学年別配当表に記されている漢字を文の中で正しく使うことに課題があります。
- 問題後半の無回答率が高く、記述に時間がかかってしまい、問題を最後まで取り組むことに困難が見られます。
- 物語を読んで、人物像や物語像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに困難が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 漢字の指導では、実際の文章や例文を用いて、実用的な理解が深まるよう指導していきます。
- 物語文を読む際には、登場人物の気持ちに深く入り込むために、感情や動機を具体的に考えられるよう指導していきます。
- 適切な文章を書くために、正しい語彙や文法を使うことの重要性を強調し、具体的な表現方法を踏まえて指導していきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の関係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 計算に関して成り立つ性質を活用して、求め方と答えを式や言葉を用いて考えることができます。
- 直方体の見取り図について理解し、作図ができます。
- 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できます。

◆課題のある点

- 文章題の言葉から「少ない」＝「引き算」と考え、立式している可能性があります。題意や図から読み取る状況把握に困難が見られます。
- 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて速さの意味について理解するのに困難が見られます。
- 課題に対して、示された条件を最後まで読み取り、必要な情報を得て、それを活用するための情報の取捨選択に困難が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 単元の学習時だけでなく、意図的にその他の単元の授業やモジュール授業などで、文章題などの復習に取り組み、文章題の問題形式に慣れる活動を取り入れて指導していきます。
- 技能面の習熟を図りつつ、様々な問題形式を学習する授業展開を目指して指導していきます。
- 問題に取り組む際に、解答への見通しをもって取り組むことができるように指導していきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 多くの児童がタブレット等の ICT 機器を活用し、友だちと協力しながら学習を進めることができている。また、ICT 機器を使用しながら学習することを楽しく感じている児童が多くいます。
- 道徳の授業では、話し合い活動を通して自分の考えを深めていると回答した児童が約98%います。また、他の学習も含め、自分の考えを発表する時に、自分の考えがうまく伝わるように工夫をして発表している児童が多くいます。
- 総合的な学習の時間やそれ以外の学習で、課題解決に向けて、自分で学び方や解決方法を考え、工夫しながら自分から取り組んでいる児童が多くいます。

◆本校の課題と思われるところ

- 国語の問題では、解答を文章で書く問題について特に時間がかかる傾向にあり、解答時間が十分ではないと感じていた児童が6割強いました。
- 算数の学習は好き、算数の授業はよく分かると回答する児童は多くいますが、算数の問題についても解答するのに時間を要する傾向にあり、解答時間が十分ではないと感じている児童がいました。

生活について

◆本校のよかったところ

- 将来の夢や目標をもっている児童、学校に行くことが楽しいと回答している児童が多くいます。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちを感じている児童の割合がとても高いです。
- 健康に過ごすために、学んだことを普段の生活に生かしている児童が多くいます。

◆本校の課題と思われるところ

- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの扱いについて、家の人と約束したことを守っている児童が多くいますが、テレビゲーム等をする1日当たりの時間が多い傾向にあります。
- 学校生活をよりよくするための話し合い活動では、自分と違う意見について考えることに楽しさを感じていますが、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていくと回答した児童の割合は低めでした。

今後の具体的な取組について

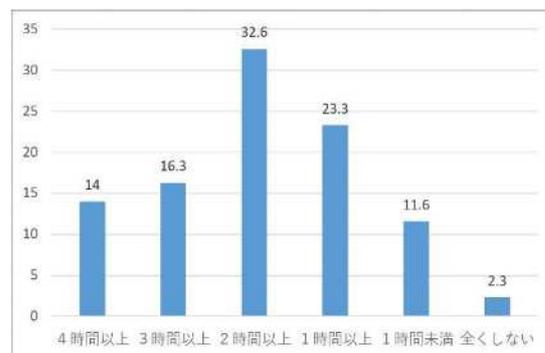
- 文章を読み、自分の意見をまとめて作文する力を継続的につけていくために、本や新聞を読むことへの興味を高め、読書量を増やすような取組や、学習の中で、児童がお互いに自分の考えのまとめ方や記述の仕方について高め合えるような取組をしていきます。
- 実生活の様々な場面において、必要なデータを分析し、課題解決に向けて様々な解決方法が考えられるように、今後も児童の実態を踏まえ、段階的に指導に取り組んでいきます。また、算数の基礎的な計算力の育成にも取り組んでいきます。
- 学習や学校生活において、児童の意見のよさをお互いに生かし、協働的に学び問題解決できるように、教科横断的な学習や学校行事等への取組を大切にしていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1 テレビゲーム等の時間や約束を確認しましょう。

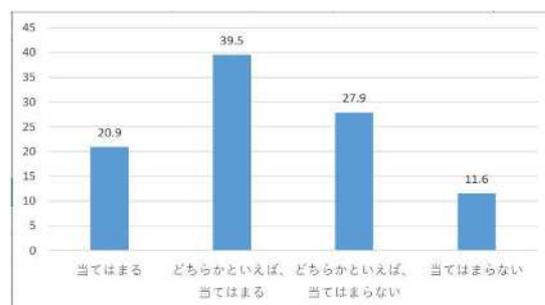
テレビゲーム等に多くの時間を費やすことで健康面の様々な問題につながりやすく、また SNS 等の絡みから防犯・安全の点でも心配なことがでてきます。お子様とテレビゲーム等の時間や約束についてご確認をお願いします。



普段 1 日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム等をしますか。

2 これからも夢や目標をもって取り組めるようにしましょう。

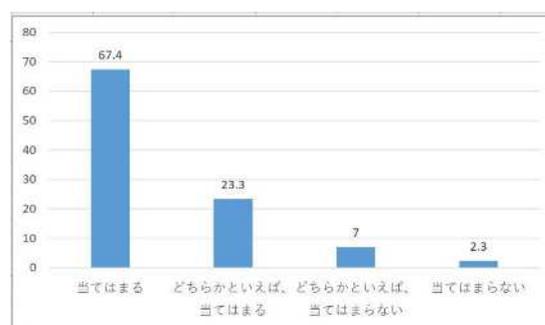
子どもが将来の夢や目標をもち、頑張ろうとする姿勢は素晴らしいことです。これからも子どもたちの自己実現に向けての努力を認め、よりよいサポートをお願いします。



将来の夢や目標をもっていますか。

3 これからも自分で学び方を考える姿勢を大切にしましょう。

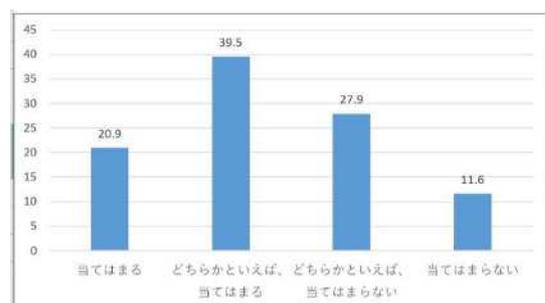
日頃から分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、探究的に自分で学び方を考え、工夫していく姿勢はとても大切です。これからも、子どもの興味関心を大切に、自分で取り組む力を育てていきましょう。



分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

4 学校とご家庭で連携をとっていきましょう。

子どもが困りごとや不安があるときに、学校では先生に言えないこともあると思います。ご家庭でお子さんから相談を受けたり、いつもと違い心配な様子だったりするときには、担任や教育相談コーディネーター等にご相談ください。



困り事や不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。

(案)

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



令和6年12月

海老名市立大谷小学校

小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 集めた情報を正しく理解したり、整理したりすることはできています。
- 物語の設問で登場人物の心情を問う問題はよくできていました。

◆課題のある点

- 集めた情報からわかること(事実)と感想を区別したり、その根拠を相手に伝わるように、書き表したりすることに課題があります。
- 物語の感想をまとめ、その根拠について整理して伝えることに課題がありました。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 題材について自分が考えたことや感じたことを表現する学習を積極的に取り入れていきます。その際には、理由や根拠を明確にするなどして、自分の考えを言葉にできるように指導していきます。
- 友達と考えの交流をする場を設定し、相手に分かりやすく伝えるための方法(話の組み立て、資料の活用など)について学習していきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の関係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 数量関係を読み取って、式に正しく表したり計算したりし、生活場面に生かすことができます。
- グラフや表について正確に読み取ることができています。

◆課題のある点

- 速さを問う問題で、どちらが速いか筋道立てて説明することに課題があります。
- 球の直径の長さや立方体の一片の長さの関係を捉え、立方体の体積を求める問題で、直径や体積を求めることに課題が見られました。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 友達と自分の考えを比較・検討する場を設定します。他者に説明するときには筋道を立てて考えを表現できるように指導していきます。
- 課題に取り組むときには、これまでの学習と関連づけたり、違いを見つけたりすることで、見通しをもつことができるようにし、いろいろな性質や法則を見出したり確かめたりできるように学習します。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- PC・タブレットなどのICT機器を活用して、友達と協力しながら楽しく学習を進めることができる児童の割合が高いです。
- 言葉や数、式を使って、わけや求め方を書く算数の問題に対して、「最後まで解答を書こうと努力した」児童の割合が非常に高いです。

◆本校の課題と思われるところ

- 自分の考えを発表する時、自分の考えがうまく伝わるように、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表することが少ない傾向にあります。
- 学習したことを次の学習につなげたり、生活に生かしたりすることができていないと選んだ児童が比較的多い傾向にあります。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「朝食を食べる」「毎日同じくらいの時刻に寝る・起きる」など生活習慣が整っている児童が多いです。
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている児童が多いです。
- 友達関係に満足している児童の割合が高い傾向があります。

◆本校の課題と思われるところ

- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う児童の割合が全国平均と比べて低いです。
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる児童の割合が全国平均と比べて低いです。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童の割合が低いです。

今後の具体的な取組について

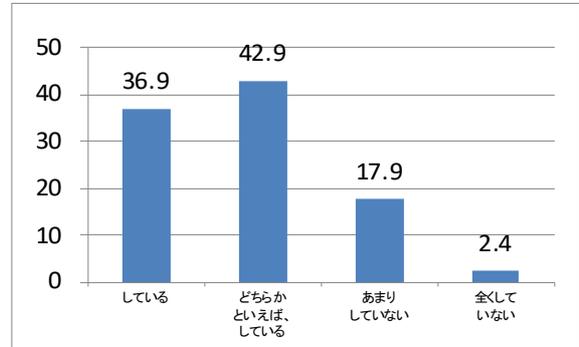
- 学習や生活において、多くの望ましい態度や行動が見られます。基本的な生活習慣が身につけていることが大きく影響しているものと考えられます。今後もよろしく願います。
- ICT機器が身近にあり、活用しようとする態度が育っています。引き続き活用していこうという態度が育っていくような学習の場の設定に努めます。
- 様々な場面で友達と意見を交換したり、互いの良さを認め合ったりしながら、自己肯定感を高めていけるように努めます。
- 今取り組んでいる学習を次へと広げていったり、生かしていったりする姿勢の育成を意識していきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1 引き続き、生活習慣を整える大切さを伝えてください。

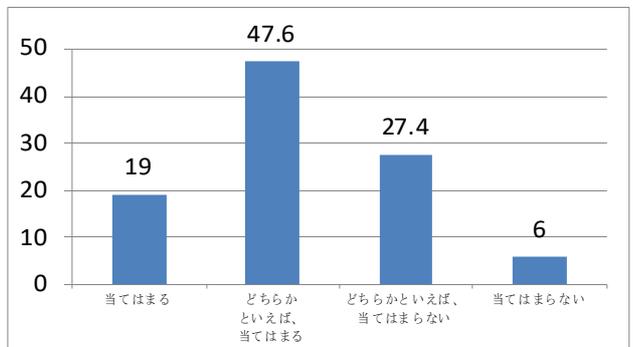
規則正しい生活や、十分な睡眠は健康な心や体の発育につながります。ご家庭でも引き続き、生活習慣を整える大切さを伝えていってください。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

2 考えの違いを知る経験や違った考えも尊重する経験を積みましょう。

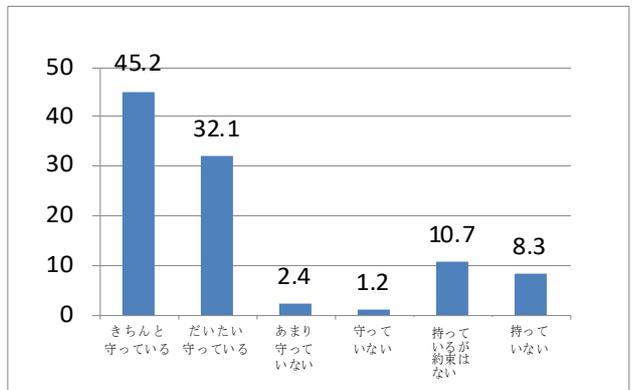
ご家庭での会話の中でも、お子さんの考え方や思いを積極的に聞いてください。また、おうちの方の考えや思いを伝えることで、相違点に気づく経験も貴重です。家庭や学校を通して様々な考えに触れることは多様性の理解につながります。



自分と違う意見について考えることは楽しいと思えますか

3 ICT機器の活用方法についてご家庭でも話し合みましょう。

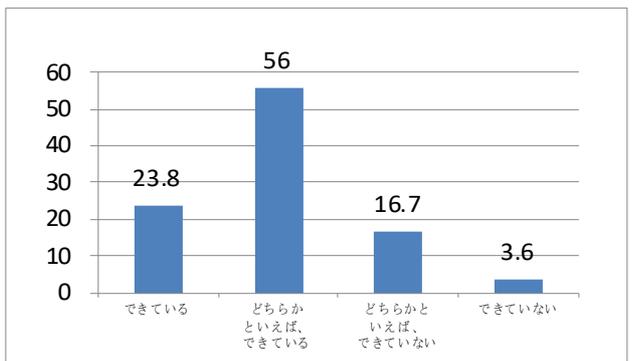
これからの時代を生きる子供たちにはICT機器の活用が大きく求められます。しかし、ICT機器は手段であり、目的ではありません。使用時間や使用のマナー等、よりよく活用するために必要なことをご家庭でも引き続き話し合ってください。



携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

4 お子さんの挑戦を見守りましょう。

自分で考え、工夫して行動する力をつけていくために、お子さんの挑戦を見守っていきましょう。学校も家庭も失敗しそうな時に、色々教えてあげたくなることもあると思いますが、励ましと見守りで、自発的に考える機会を増やしましょう。



分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

(案)

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和6年12月
海老名市立上星小学校**

小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができています。また、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することもできています。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができています。

◆課題のある点

- 話し言葉と書き言葉との違いを意識した使い方について課題が見られます。
- 主語と述語との関係の捉え方や、文の構造の理解について課題が見られます。
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることについて課題が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 本校の児童が得意としている資料収集・情報活用の力を活用し、主語と述語の関係や文の構造の理解について学習させていきます。また、学ぶ楽しさを実感させていくために、実際の使用場面を想定した課題に取り組みさせていきます。
- 読書教育（電子図書館含む）に力を入れていきます。豊かな文章や言葉に触れさせることで言語感覚を養っていくとともに、すばらしい本との出会いに向けた取り組みをしていきます。
- 想像力を養う手立てとして、物語文や詩の音読・朗読に親しませていきます。多様な表現にふれさせるとともに、友だちの発表・表現のよいところを相互に認め合えるようにしていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の關係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置關係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の關係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができています。
- 除数が小数である場合の除法の計算ができています。
- 速さが一定であることを基に、道のりと時間の關係について考察できています。

◆課題のある点

- 問題場面の数量の關係を捉え、式に表すことに課題が見られます。
- 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述することに課題が見られます。
- 速さを求める際に複数の条件を統合したり、それを基に計算したりすることに課題が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 問題場面を正確に捉えることができるよう、式や図だけではなく、具体物の操作を学習に取り入れていきます。
- タブレット端末を活用した計算に関する反復練習は継続するとともに、ペアやグループでの協働学習を通じた説明活動に力を入れていきます。
- 継続的な指導や学年間の円滑な接続をめざし、学習してきたことを楽しみながら復習できるよう、指導計画を見直していきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」という設問に対して、38.8%の児童が「ほぼ毎日」、40.8%の児童が「週3回以上」と答えています。日常的にICT機器を活用した授業実践が展開できていると考えられます。
- 「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」という設問に対して、71.8%の児童が肯定的に回答しています。国語科等での発表に向けた学習の積み重ねが成果として表れていると考えられます。

◆本校の課題と思われるところ

- 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」という設問に対する肯定回答の割合が低くなっています。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「自分には、よいところがあると思いますか」という設問に対して「当てはまる」と答えた児童の割合が49.5%と高くなっています。児童の自尊感情を高めるために、学校・地域・家庭が連携している効果が出ているのだと考えられます。
- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という設問に対して、92.2%の児童が肯定的に回答しています。1年生から継続的に取り組んでいるキャリア教育の成果だと考えられます。

◆本校の課題と思われるところ

- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」や「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」という設問に対する肯定回答の割合が低くなっています。
- 「将来の夢や目標を持っていますか」という設問に対する肯定回答の割合が低くなっています。

今後の具体的な取組について

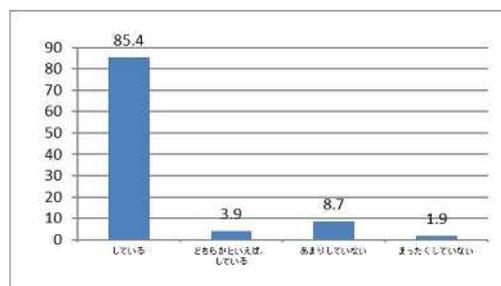
- 児童が規則正しい生活のよさに気付けるよう健康教育の指導計画を見直すとともに、家庭との連携を強化していきます。
- 本校のキャリア教育の成果として上がっている面を基盤に、児童自身の将来について具体的に想像できるよう、指導を改善していきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1 今後も、朝ごはんを大切にしましょう。

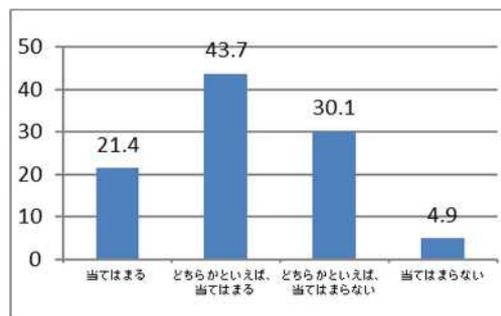
規則正しい生活にとって、朝ごはんはとても大切なものです。体内時計に関係し、早寝早起きにもつながります。子どもたちが元気に勉強や運動に取り組めるよう、今後も継続していただければと思います。



朝食を毎日食べていますか

2 家族で団らんやふれあう時間をとりましょう。

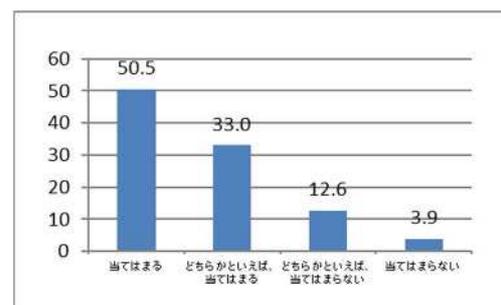
他者の考えや気持ちを知り、他者の意見について考えることは、自分の考えをよりよいものにするために大切なことです。食事やテレビを見ている時間など、何気ない時の会話が、自然と意見の交流になるのではないのでしょうか。



自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

3 さまざまな人との出会いを楽しみましょう。

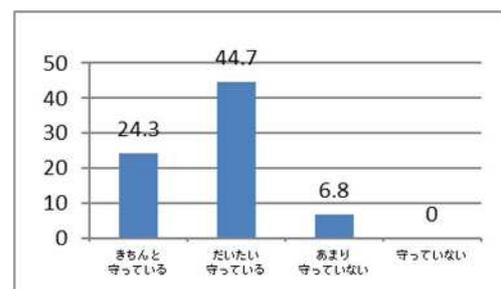
多様な価値観にふれることは人生を豊かにすると言われています。そのための第一歩として地域の方へのあいさつを大切にいただければと思います。



友達関係に満足していますか

4 ICT 機器使用の約束は、適宜見直しましょう。

急速な時代の変化は、私たちの生活をどんどん変えていきます。場面や状況の他、年齢に合わせた約束の見直しは、子どもたちの成長に有効に働くと考えます。



携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

(案)

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



令和6年12月

海老名市立中新田小学校

小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 「書くこと」の「思考力、判断力、表現力等」については、全国平均を8ポイント上回っており、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができています。
- 「話すこと・聞くこと」の「思考力、判断力、表現力等」については、全国平均を2.5ポイント上回っており、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができています。
- 「情報の扱い方に関する事項」についての「知識・技能」では、86.2%が正答しており、情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句の関係の表し方を理解し使うことができています。

◆課題のある点

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」についての「知識及び技能」では、全国平均を13.1ポイント下回っており、文の中における主語と述語との関係を捉えることに課題が見られます。
- 「我が国の言語文化に関する事項」についての「知識及び技能」では、全国平均を14.6ポイント下回っており、日常的に読書に親しみ、読書をすることで、自分の考えが広がるということに気付くことに課題が見られます。
- 全体を通して全国平均と比べると漢字や記述式の無回答率が高く21.5%となっています。分からない問題に対し、粘り強く取り組む姿勢に課題を感じます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 文章を読んで自分なりの意見や考えを持ち、スムーズに表現することができるよう、单元ごとに初発の感想や「なかしんでん」の視点に沿った振り返りを大切に扱います。
- 朝読書の時間を活用したり、日記の宿題を出したりして、たくさんの文章を読んだり書いたりする活動を通して、主語と述語の関係を捉えられるよう指導を行います。
- 漢字の読み書き指導は、毎日継続的に行い、繰り返し練習する習慣を身につけさせます。学習中の漢字だけでなく、過去に学習した下学年の漢字の復習も行います。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の關係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置關係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の關係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- A 数と計算の学習：□を用いた式や計算練習などの問題では、全国平均を7ポイント上回り 95.4%の児童が正しく回答するなど、知識・技能が身についています。
- B 図形の学習：直方体の見取図に関する知識・技能の問題では、全国平均を2ポイント上回り 87.7%の児童が正しく回答しています。直方体や円柱の展開図に関する問題は、空間認識能力を必要とし、高得点を獲得したことは、児童が立体図形を正確に理解し、視覚的に把握する能力が高いことを示しています。また、直径の長さ、円周の長さ、円周率の關係に関する知識・技能の問題でも全国平均を7ポイント上回り 78.5%の児童が正しく回答しています。

◆課題のある点

- B 図形の学習：球の直径の長さと立方体の一辺の長さの關係をとらえ、立方体の体積の求め方を式に表す問題では、全国平均をわずかに上回っているとはいえ、正答率が 36.9%と低い結果となっています。深い理解を伴う知識の習得ができておらず、体積の単位とこれまでに学習した単位との關係を考察できていない児童が多い傾向にあります。また、無回答の児童も 7.7%いました。
- C 変化と關係の学習：速さの意味について理解しているかどうかを見る問題では、どちらが速いか判断し、その理由を書く回答が、正答率 27.7%、分速を求める回答で正答率が 50.8%と低い結果となっています。記述式の回答では、無回答が 6.2%と高くなっていました。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 図形や単位量あたりの大きさ(速さなど)について、深い理解を伴うことができるよう繰り返し学んでいけるようにしていきます。
- 図形や単位量あたりの大きさなどでは、深い理解を伴う知識の習得ができておらず、単位とこれまでに学習した単位との關係が考察できていないため、前学年の学習を振り返りながら知識を積み重ねていけるように指導していきます。
- 日常生活を絡めながら、活用できる知識・技能を習得させることが重要だと思います。また、データの活用については、学年に応じながらデータと言葉・数を使って表現する力を身につけられるよう指導していきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「算数の授業は好き」と回答している児童が全国平均を 7.8 ポイント上回っています。
- 「算数の勉強は大切だ」と回答している児童が全国平均を 9.3 ポイント上回っています。
- 「学習した内容について、分からなかった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる」と回答している児童が全国平均を 9.9 ポイント上回っています。
- 「英語の勉強は大切だ」と回答している児童が全国平均を 6.4 ポイント上回っています。
- 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思うか」という問いに対して、「当てはまる」と回答した児童が全国平均より 6.4 ポイント上回っています。

◆本校の課題と思われるところ

- 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答している児童が全国平均より 15.3 ポイント下回っています。
- 「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」と回答している児童が全国平均より 10.5 ポイント下回っています。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「朝食を毎日食べている」と回答した児童の割合が 94%と高く、家庭での協力が得られています。
- 「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に対して、全国平均よりも 3.9 ポイント高い 88%の児童が当てはまると回答しており、自己肯定感が高い児童が多いと考えられます。
- 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という質問に対して、全国平均よりも 10.5 ポイント高い 77.6%の児童が当てはまると回答しており、児童が抱えている困り感に対する早期対応につながっていると考えられます。
- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」という質問に対して、94%近い児童が当てはまると回答しており、他人に対して思いやりを持っている児童が多いと考えられます。

◆本校の課題と思われるところ

- 「1日どれくらいの時間にテレビゲームをしますか」という質問に対して、4時間以上と回答した児童が、全国平均よりも 10.7 ポイント高い 28.4%、「1日どれくらいの時間に SNS や動画視聴をしますか」という質問に、4時間以上と回答した児童が全国平均よりも 12 ポイント高い 23.9%いました。長時間、ゲームやテレビ、スマホに触れている児童が多いと考えられます。
- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」という質問では、あてはまる・ややあてはまると答えた児童の割合が、どちらも全国平均よりも5ポイント程度下回っています。

今後の具体的な取組について

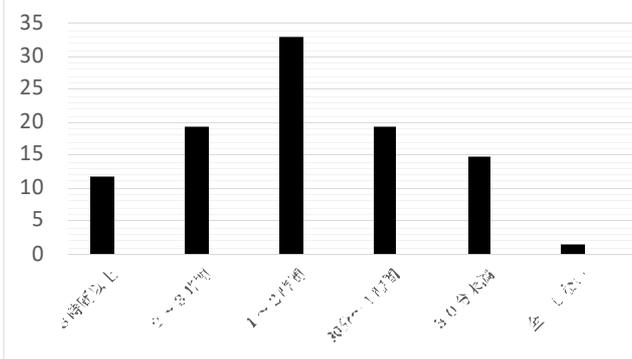
- 国語の学習では、言葉が将来どのように役立つのか意図的に考える機会を多く持たせていきます。また、学習の定着を図るために、既習事項の確認を授業内で取り入れていきます。
- 友達と協力しながら課題解決できるように、話し合い活動を充実させていきます。また、タブレット・PCなどの ICT 機器を効果的に活用し、基礎学力の定着を図るとともに、学習の振り返りをする機会を設けます。
- スマホ依存や SNS のトラブルに発展しないよう、タブレット・スマホなどの ICT 機器の活用の仕方や情報セキュリティの指導を継続して行っていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

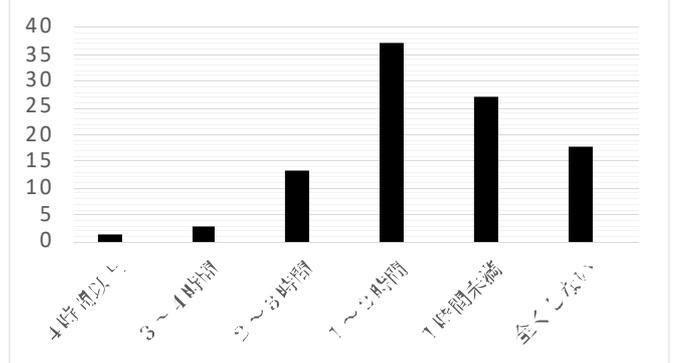
令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい3つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1 家庭学習の習慣を身につけましょう

平日の学習時間



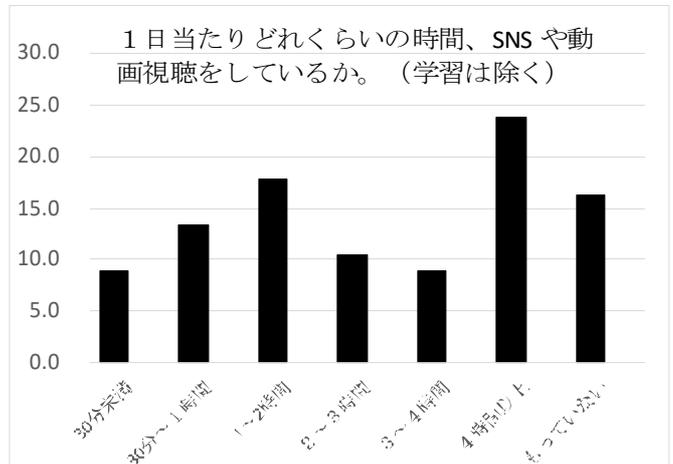
休日の学習時間



平日、休日ともに家庭学習を全くしていない児童や学習時間が30分未満の児童がいます。本校では、学年×10分を目安に家庭学習の時間を提案しています。学校の授業時間以外にも、予習や復習などの学習に取り組む習慣ができると良いと思います。テレビゲームやスマホ等のスイッチを切り、学習に取り組める環境づくりにご協力お願いいたします。

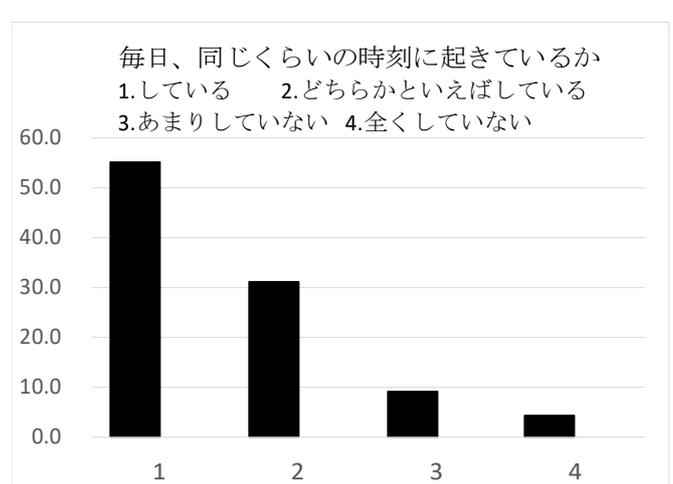
2 スマホ・タブレットの使用ルールを確認しましょう

スマホ等で長時間 SNS や動画を視聴している児童が多いです。一方で、「スマホやコンピューターの使い方について家の人との約束を守れているか」について、「守れている」と回答した児童が80.6%だったので、1日の使用時間を1～2時間以内になるように、ご家庭でのルールの確認をよろしくお願いします。



3 規則正しい生活をしましょう

規則正しい生活を送ることで、活動や学習のための準備が整います。また、朝の時間を有効に活用することで、計画的に一日をスタートさせることができ、より充実した日々をおくることができます。就寝時間や起床時間を一緒に決めたり、リラックスできる環境を整えたりすることで、子どもたちが早寝・早起きを実践しやすくなります。ご協力をお願いいたします。



(案)

令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果



令和6年12月

海老名市立門沢橋小学校

小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 資料を活用するなど、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができます。
- 目的や意図に応じて、事実と感想、意見等を区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができます。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができます。

◆課題のある点

- 言葉を活用する場面に応じて、話し言葉と書き言葉との違いを理解することに課題があります。
- 主語と述語の関係の正確な理解に課題があります。
- 初めて取り組む説明文等の読解に時間を要するため、時間内にすべての問いに答えることに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 学習した言葉を書いたり使ったりしながら、実際に文章や会話の中で活用する機会を増やすことにより、言語活用能力のさらなる向上を目指していきます。
- 国語科の他にも、各教科等において、さまざまな文章を読む機会をより多く設けることにより、文章の内容を正しく理解する力を身に付けられるよう指導していきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の關係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置關係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の關係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- グラフの特徴を理解し、グラフに示されている値を適切に読み取ることができています。
- 体積の求め方を理解し、その考え方をもとにして他の図形との関係を捉え、式に表すことができます。
- 数量の関係を、□を用いた式に表すことができます。

◆課題のある点

- グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述することに課題があります。
- 立体の底面や側面に着目し、面の数とその理由を言葉と数を用いて記述することに課題がありません。
- 問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 資料に明記されている値を読み取ることは比較的できていますが、値が示している内容同士を結び付けて表現することに課題があるため、教師の問い返しの充実を図ることや言葉を用いた説明の機会を多く設けることで、表現する経験を積み重ねられるようにしていきます。
- 新単元の開始前に、関連する既習内容を振り返ることができるような時間を設定します。また、デジタルドリルを活用した自主学習や、デジタルでの課題解決など、気軽に楽しみながら復習することができるようにしていきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「国語、算数、英語の勉強が大切です」と回答している児童が全国平均より上回っており、総じて、学習することは大切だと感じている児童が多いことがわかります。
- 道徳や国語での話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりしようとする意識が高いことがわかります。
- 学校生活の中でICTを活用する場面が多いことから、ICTへの意識の高さが感じられます。

◆本校の課題と思われるところ

- 今回の問題に対して、解答時間が足りなかったと回答する児童の割合が、全国平均より上回っており、読解力や判断力の向上が求められます。
- 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していると感じている児童の割合が全国平均よりも下回っていることから、自分の考えはもっているものの、それを上手に表現することに苦手意識をもっている児童がいることがわかります。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「学校に行くのは楽しい」と回答している児童の割合が、全国平均に比べて約20ポイント上回っています。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と回答している児童が多く、他者を尊重しようとして意識していることがわかります。
- 「人が困っているときには進んで助けている」と回答している児童が多く、互いに助け合いながら生活しようとする意識が高いことがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

- 「早寝早起き」ができている一方で、「朝食を毎日食べている」と回答している児童の割合が、全国平均と比べて約10ポイント下回っています。

今後の具体的な取組について

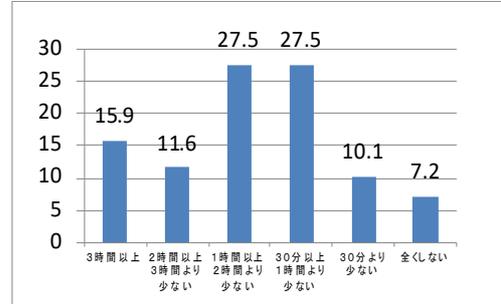
- 困っている人を助けたいという思いや、友達と協力したいという思いが伝わってきます。今後も、グループ学習や、クラスの中での係や当番活動などを通して、児童同士が協力する大切さを感じたり、喜びを味わったりすることができるようにします。
- 自己肯定感を高めるために、各教科等だけではなく、さまざまな教育活動を通して、一人ひとりの良さを認めていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1 家庭学習の習慣を身に付けましょう

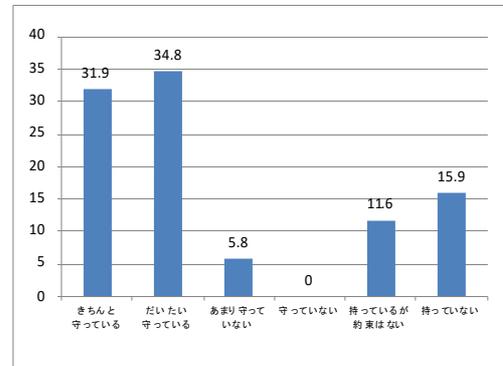
家庭学習は毎日続けることで習慣化されます。お子さんに合った学習時間を設定していきましょう。



学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか

2 デジタル端末の使い方について、定期的に話し合しましょう。

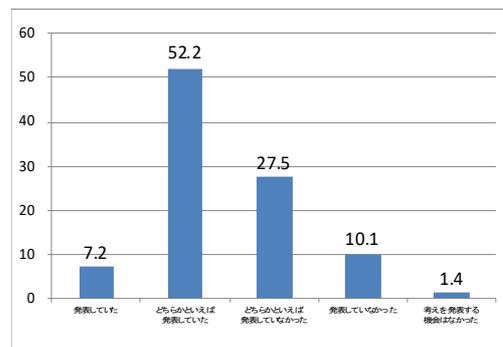
家庭で使い方やルールについて話し合しましょう。時々、約束を守れているか振り返り、見直ししながら、お子さんが安全に使用できるよう見守っていきましょう。



携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

3 お子さんとの団らんの時間を取り、会話の機会を設けましょう。

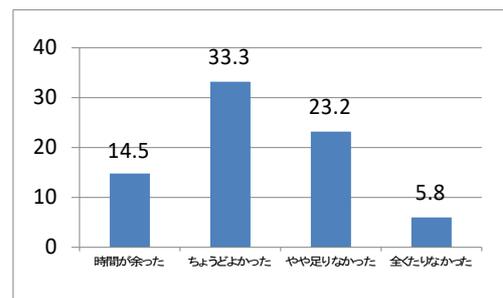
会話を通して、自分の考えを整理しながら話す経験を積むことで、お子さんが「もっと伝えたい」という意欲を高められると思います。



自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

4 家庭でも読書の時間を設けましょう。

読書を継続的に行うことで、学力の基礎となる読解力を身に付けることができます。



解答時間は十分でしたか(国語)

(案)

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



令和6年12月

海老名市立東柏ヶ谷小学校

小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 日常的に触れる機会の多い漢字を適切に書くことができます。
- 文学的な文章において、登場人物の相互関係や心情について、叙述をもとに捉えることができます。
- 文章の種類や特徴を理解し、読み取ったことに基づいて、自分の考えをまとめることができます。

◆課題のある点

- 使い慣れていなかったり、画数が多かったりする漢字を書くことに課題があります。
- 文章や資料からわかることを適切に捉えることに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 日常的に文章を書く機会を増やしたり、音読をしたりして、さまざまな漢字を使ったり、読んだりする機会を増やします。
- 資料を効果的に用いるなど、自分の考えがよりよく伝わるように工夫して表現する場面を増やします。
- 文章や資料から伝わったことを整理して考えたり、表現の工夫に目を向け、その文章のよさに気づいたりできるようにします。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の關係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置關係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の關係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 作成途中の直方体の見取図について、辺の位置關係や長さに着目して、作図することができます。
- 円柱の展開図について、側面の底面に接している辺の長さが、底面の周りの長さと等しいことを理解して、適切な展開図を選ぶことができます。
- 円グラフから該当する割合を読み取り、正しく数値を書くことができます。

◆課題のある点

- 文章の中から正しく情報を読み取り、具体的な場面を想像しながら立式する力に課題があります。
- 整数÷小数の計算に課題があります。1よりも小さい小数で割る場合に商が割られる数よりも大きくなるのが感覚としてとらえにくいいため正答率が低い傾向にあります。
- 自分の考えを説明することに課題があります。問題の意図は理解できていますが、それを自分の言葉で説明することが難しく正答率が低くなる傾向があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 正確に立式し計算することができるように授業を展開していきます。問題文をよく読み、図に表したり表に表したりする作業を大切に、自ら正解を導き出せるような指導を行っていきます。
- ペア活動を取り入れ、自ら納得したり他者に説明したりする機会を多く設定していきます。また、言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて、問題を解決するために見通しをもち、筋道を立てて説明したり論理的に考えたりする場を設定していきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- PC・タブレットなどのICT機器に積極的に活用し、友達と考えを共有することや比べること、友達と協力しながら学習を進めることができている児童が多いことがわかります。
- 学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができている児童が多いことがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

- 課題の解決に向けて、自分で考え進んで取り組んだり、学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたりする活動が難しいと感じている児童が多いことがわかります。
- 外国語の学習が難しく、苦手と感じている児童が多いことがわかります。
- 学校が休みの日に、自分から学習に取り組む時間が少ない児童が多いことがわかります。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「学校に行くことが楽しいですか」「先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の問いに対して、「当てはまる」の回答の割合が全国平均と比べると高いです。先生や学校にいる大人と良好な関係を築けていることがうかがえます。
- 「友達関係に満足していますか」「人が困っているときには進んで助けていますか」の問いに対して、「当てはまる」の回答の割合が全国平均と比べると高いです。友達関係が良好で助け合いができている様子がうかがえます。

◆本校の課題と思われるところ

- 「自分には、よいところがある」と回答した児童が全国平均よりやや低いです。自分のよさを認め、自信につなげることができている児童が少ないことがわかります。
- 「1日当たりどれぐらいの時間、テレビゲームをしますか」の問いに対して、長時間テレビゲームをする児童の割合が全国平均と比べて高いです。家庭での時間の使い方に課題がうかがえます。
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と考える児童の割合が全国平均より低いです。どのような形で行動を起こしたらよいかわからないことからこのような結果となったことが考えられます。

今後の具体的な取組について

- 児童一人ひとりのよさが発揮できるような教育活動の展開や自己肯定感を高めていくような言葉かけを大切にしていきます。
- 本校の特色である地域との連携を大切に、人とのかかわりの大切さや楽しさを味わうことができるような教育活動を展開していきます。
- 学習を振り返り、課題を見つけ解決するために、自分の考えをまとめ児童自ら計画を立てて、各教科で学んだことを生かしていくような教育活動を展開していきます。
- 外国語の学習を楽しみと思える児童が増えるように授業の展開を工夫していきます。

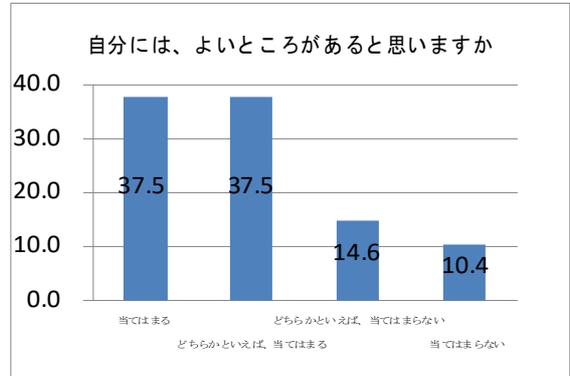
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1

できるようになったことや、がんばっていることを、認め励ます。

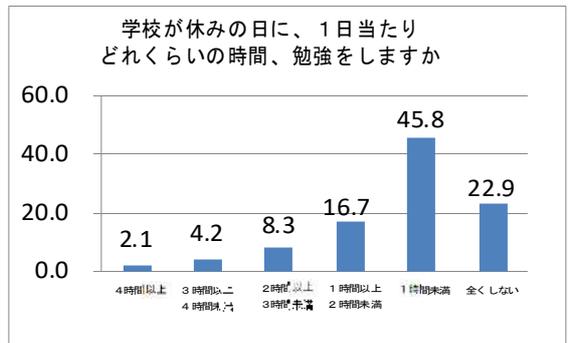
できるようになったことやがんばっていることを認めることで、自己肯定感が高まり、自信をもって行動できるようになります。



2

自主学習に積極的に取り組む。

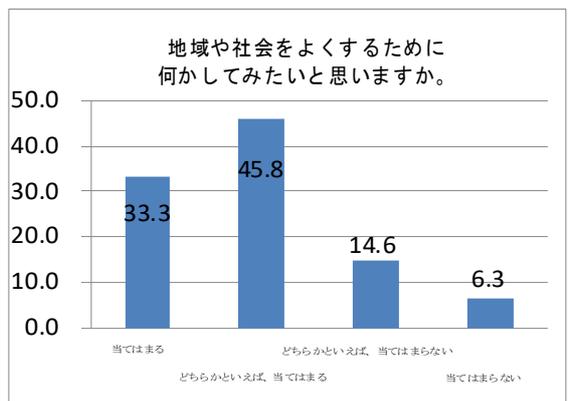
学年が上がると、学習も難しくなります。自分の得意・苦手に合わせて学習計画が立てられるよう、見守ってください。



3

地域の行事に積極的に参加する。

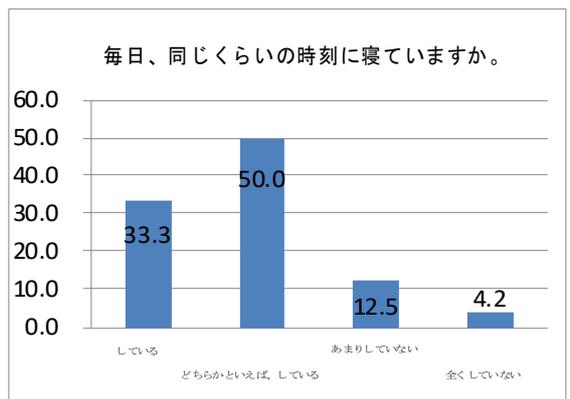
今年度から地域行事の制限が緩和されています。児童の積極的な参加が、地域への愛着や地域の活性化につながります。



4

規則正しい睡眠をとる。

毎日決まった時間に眠り、決まった時間に起きましょう。生活のリズムも整い、学習に集中することができます。



(案)

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



令和6年12月

海老名市立社家小学校

小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

○知識及び技能について

- ・聞き取りメモの書き表し方を説明したのものとして適切なものを選択肢の中から選ぶことが比較的できています。
- ・該当する主語に適切な述語を選ぶことができています。
- ・選択肢の中から、空欄に入る内容について適切なものを選ぶことができています。

○思考力・判断力・表現力等について

- ・登場人物の心情が表れている文章を叙述から選び、選択肢の中から選ぶことができています。

◆課題のある点

○全体を通して

- ・叙述から答えを見つけることはできているのですが、叙述にない部分を答えとして求められる問題（メモの工夫の真意や、登場人物の叙述には表れていない心情や様子を想像して考えること。）への正答率が、全国や県に比べて低い傾向にあります。

○知識及び技能について

- ・学年別配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題が見られます。

○思考力・判断力・表現力等について

- ・出題された聞き取りメモが、どのように整理されているのか説明されているものや、書き表し方を説明する問題の意図が理解しきれていない様子が見られます。
- ・登場人物の工夫や、その考えを説明するような問題の正答率が低い傾向があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 選択肢のある解答ではなく、自分の思ったことや感じたことを文章にして書き表す力をつけていく必要があります。
- 叙述から文章は読めています。今後はその背景や心情を想像させ、適切なものを考えようとする学習を進めていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の關係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置關係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の關係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 数と計算の問題
 - ・問題場面を、□を用いた式で正確に表すことができています。
- 図形の問題
 - ・作成途中の直方体の見取図について、理解できている児童が多いです。
- 変化と關係の問題
 - ・速さが一定であることを基に、道のりと時間の關係について考察できる児童が多いです。

◆課題のある点

- 変化と關係の問題
 - ・道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題が見られます。
- 図形の問題
 - ・図形の問題は他と比べ正答率が高い結果となりました。しかし、球の直径の長さや立方体の一辺の長さの關係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことが難しいようです。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 考えを表現する機会を設ける
 - ・変化と關係を捉え、答えを求める際に、「どのように考えていったのか」「どうしてそう考えたのか」を言葉や数、図や表を用いて表現する場面を授業の中で多く設定していきます。
- 既習内容をつなげて考える
 - ・児童が理解している内容を活用し、さらに応用問題を考えることができるよう進めていきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

○英語の学習

- ・「英語の勉強は好きですか」の設問に対し、当てはまる・どちらかといえば当てはまると回答した児童は、全国平均より上回る結果となっています。（県比+7ポイント・全国比+6ポイント）また、「英語の勉強は大切だと思いますか」「英語の授業の内容はよく分かりますか」の設問でも、好意的な回答が県、全国の平均を上回っています。英語の学習が充実していると言えます。

◆本校の課題と思われるところ

○算数の学習

- ・「算数の勉強は好きですか」「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」「算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか」の設問に対し、当てはまる・どちらかといえば当てはまると回答した児童は、県、全国平均を10ポイント以上下回る結果でした。

○総合的な学習の時間

- ・「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいますか」の設問に、当てはまる・どちらかといえば当てはまると回答した児童は、県、全国平均を10ポイント以上下回る結果でした。

生活について

◆本校のよかったところ

○キャリア教育についての意識

- ・「将来の夢や目標をもっていますか」の設問に対し、当てはまる・どちらかといえば、当てはまると回答した児童は、全国平均より上回る結果となっています。教科横断的によってさまざまな職業に触れていたり、日常から目標を意識しながら生活したりする様子があると考えられます。

◆本校の課題と思われるところ

○人とのつながり

- ・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の設問に対し、肯定的な回答が平均よりも下回る結果となりました。「当てはまる」の回答は県比-14.3ポイント・全国比-15.1ポイントでした。他者の役に立ちたいという意識や積極性が若干低い傾向が見られます。

○PCやタブレットの活用

- ・「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」の設問には、有効性を実感しているとの回答が全国平均より下回る結果となっています。学習の有効な手段として活用の指導にも課題があると考えられます。

今後の具体的な取組について

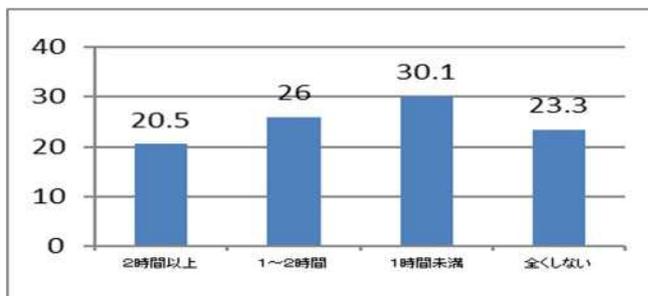
- 算数で、与えられた課題に対する取り組みだけではなく、自ら課題を見出し、解決していく力を身に付けていくことをめざします。
- 総合的な学習の時間に計画的に取り組めるような学習環境について考えていきます。
- 地域を含め、様々な人と関わり、つながりを感じることができるよう機会を設けるとともに、児童が「役に立ちたい」と感じられるような関わり方や指導を意識していきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい3つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1 勉強をする習慣をつけましょう。

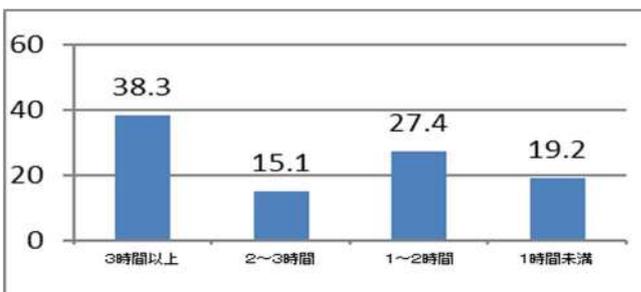
土日は習い事で忙しい人もいるかもしれませんが、勉強をする習慣は大切です。「全くしない」ということがないように、長時間でなくてよいので、勉強する習慣をつけましょう。



学校が休みの日に1日あたりどれくらい勉強をしますか？

2 ゲームの時間に気をつけましょう。

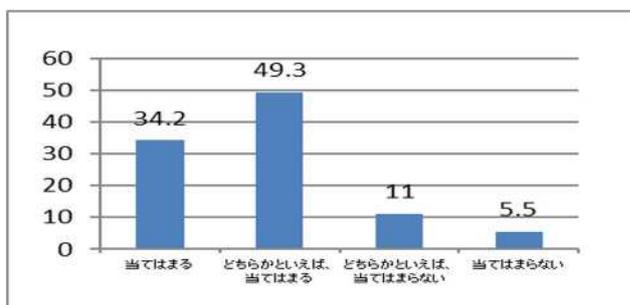
ゲームはとても楽しいものです。しかし夢中になると、いつの間にか何時間も時間が過ぎていくことがあります。ご家庭でルールを決めて遊ぶようにしましょう。



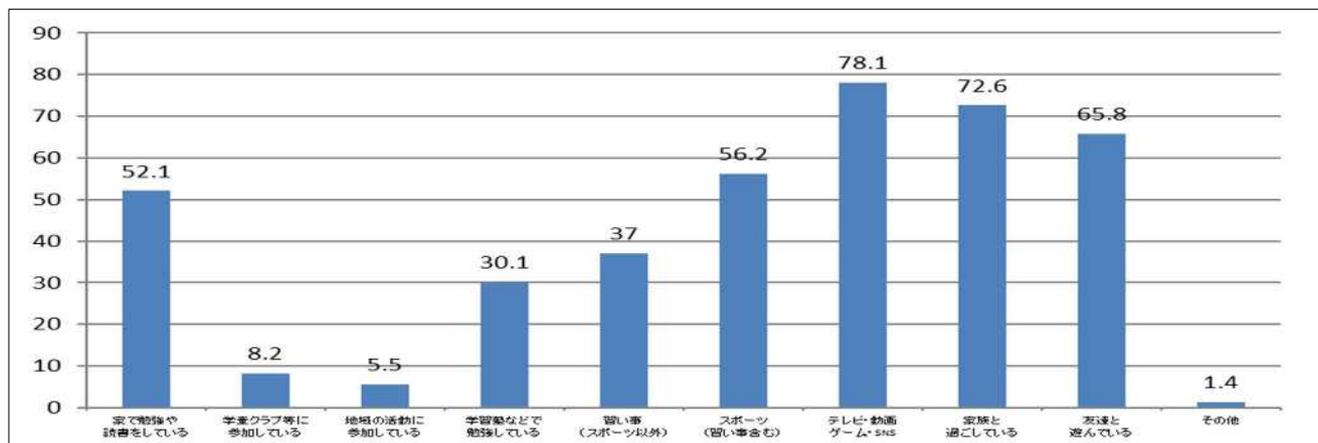
1日あたりどれくらいの時間ゲームをしますか？

3 地域の行事に、参加しましょう

「地域や社会をよくするために何かをしてみたい」と思っている児童はたくさんいます。しかし実際に「地域の活動に参加している」と回答した児童は、4人しかいません。実際に行動することで、より地域のことを知ることができるだけでなく、今後の学習に役立つ良い機会となるので、積極的に参加しましょう。



地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



放課後や週末に何をしてお過ごしが多いですか(複数選択)

(案)

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



令和6年12月

海老名市立杉久保小学校

小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することが比較的できています。

◆課題のある点

- 「書くこと」を除く全内容、全観点、全問題形式で、全国と比べ正答率が低くなっています。
- 文章や問題の読み取りに時間がかかり、後半になるほど無回答率が高くなっています。
- 自分の考えが伝わるように表現を工夫するためには、相手や目的を意識し、どのような資料を用意すればよいかを考えることに課題が見られます。
- 文の中における主語と述語との関係を捉えることに課題が見られます。
- 物語を読んで文章の叙述と自分の考えを分けて文章にまとめることに課題が見られます。
- 漢字配当表に示されている既習の漢字を正しく使うことに課題が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 教科に関わらず、自分の考えを文で表現する力を養うため、自分の学びの振り返りなど、考えを伝え合ったり、記述したりする機会を確保します。
- 様々な文章に慣れ親しむことができるよう、読書の時間を確保していきます。
- 自分の伝えたいことが相手に理解されているか確認できるよう、児童同士の対話を積極的に取り入れた授業にしていきます。
- 普段から授業において、文体（主語・述語）の整った文を意識して話したり書いたりできるようにします。
- 自分の考えをまとめるときは、文章の叙述から根拠を明確にして書くように指導の工夫をします。
- 朝のモジュール学習の時間を活用し新出漢字の定着を図っていくとともに、文を書く際にも既習漢字を使うように意識づけをします。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の關係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置關係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の關係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 数量關係を、□を用いた式に表すことが比較的できています。

◆課題のある点

- 全領域、全観点、全問題形式で、全国と比べ正答率が低くなっています。
- 理由を言葉で説明をする記述式問題において、課題が見られます。
- 除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの關係についての理解に課題が見られます。
- 速さの意味や道のりと速さの關係についての理解に課題が見られます。
- 折れ線グラフから必要な情報を読み取る力や条件と照らし合わせる力に課題が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 基礎基本の定着を図るとともに、算数の楽しさを実感できるような授業の工夫により、興味関心を高めていきます。
- 課題に対して、自分の考えを記述したり、発表したりする場を意識的に取り入れ、児童が自らの考えを言語化できる場をつくっていきます。
- 小数や分数のわり算において、具体的な状況がイメージできるように、今後も具体物や数直線などを用いた学習に取り組んでいきます。
- 速さ、時間、道のりの3つの数量關係を絵や図、数直線を用いてイメージを持てるように工夫します。また、割合の3用法が習得できるよう系統的な指導を行っていきます。
- グラフの読み取り方については算数科で基礎基本を定着させるとともに、他教科でも触れ、活用する機会を増やしていきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「授業の中で、タブレットを活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができているですか。」という設問に対して、肯定的な回答をした児童が89.8%いました。これは神奈川県や全国の平均を上回る結果となりました。
- 「授業やテストで、間違えたところなどをわかるまで教えてくれていますか。」という設問に対し、肯定的に回答した児童が、92.6%いました。これは、神奈川県、全国平均を上回りました。

◆本校の課題と思われるところ

- 「学校の授業時間以外に、1日あたり、どれくらいの時間勉強をしますか。」という設問に対し、1時間より少ないと回答した児童が40.8%いました。
- 「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」という設問に対し、肯定的な回答が県や全国を下回りました。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「学校に行くのが楽しいと思えますか。」という設問に対し、肯定的に回答した児童が93.5%いました。これは、神奈川県や全国の平均を上回る結果となりました。

◆本校の課題と思われるところ

- 「1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。」「1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンなどでSNSや動画視聴をしますか。」という設問に対し、それぞれ3時間以上と答えた児童の割合は、全国平均を上回りました。
- 「毎日同じくらいの時刻に寝て（起きて）いますか。」という設問に対し、肯定的に回答した児童の割合は県、全国平均を下回りました。

今後の具体的な取組について

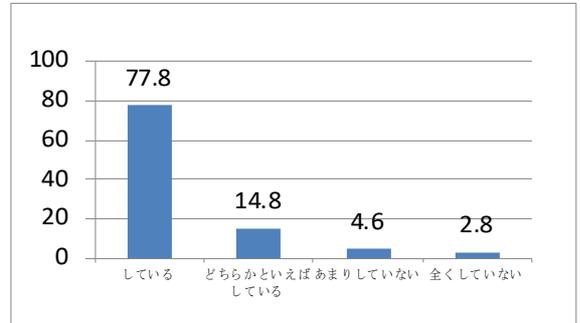
- 友達や周りの人の考えを大切に、協力して課題解決ができるよう、日常生活や道徳の時間を通し、意識を高めていきます。
- スマートフォンの使用方法について、健康面、人権等の面から、警察署との連携を通して、子どもや保護者への啓発を継続します。
- 学校でも生活習慣が体に与える影響について指導し、自身の健康について考える機会をつくらせていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1 毎日朝食をとってから登校しましょう。

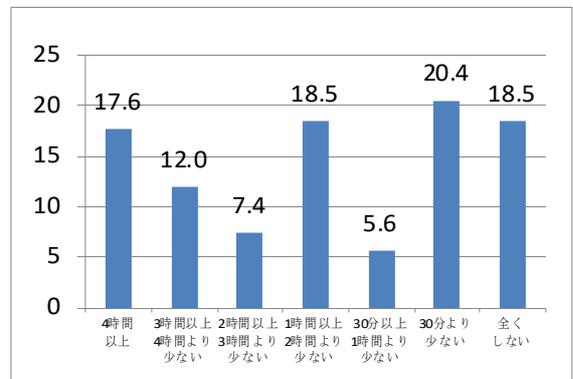
毎日、朝ご飯を食べることで活動や学習のための体の準備ができ、これは生活全体のリズムを保つうえでも大切なことです。これからも、家族みんなで協力しましょう。



朝食を毎日食べていますか

2 スマートフォンやゲームの使用時間を見直しましょう。

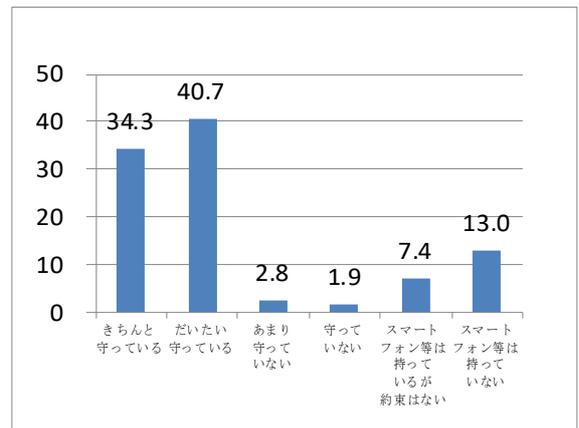
スマートフォンやゲームの時間が長いと、生活リズムや健康面に影響が出てきます。適切な使用時間について考えていきましょう。



普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか

3 スマートフォンやゲームの約束を家族で確認しましょう。

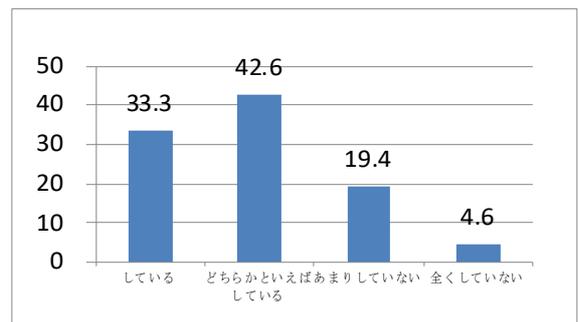
不適切な ICT 利用が子どもの健やかな成長発達や心身の健康に悪影響をおよぼすおそれがあります。今一度、適切な使用方法について、ご家庭で確認をお願いします。



携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

4 十分な睡眠時間を確保しましょう。

適切な睡眠時間の確保は、学校での学習意欲につながります。小学生の推奨睡眠時間は9~12時間といわれています。寝床では、デジタル機器を控えるなどして、良質な睡眠を取れるようにしましょう。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

(案)

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和6年12月
海老名市立今泉小学校**

小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することはよくできています。【話すこと・聞くこと】
- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することはよくできています。【話すこと・聞くこと】
- 話し言葉と書き言葉との違いに気付くことはよくできています。【言葉の使い方】
- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することはよくできています。【話すこと・聞くこと】
- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることはできています。【書くこと】
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことはできています。【言葉の使い方】
- 文の中における主語と述語との関係を捉えることはできています。【言葉の使い方】
- 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることはできています。【読むこと】

◆課題のある点

- 目的や意図に応じて、事実と自分の考えとを区別して文章を書いたり、自分の考えの理由を明確にして文章を書いたりするなど、自分の考えを分かりやすく伝わるように文章を書くことに課題がありました。【書くこと】

今後の具体的な指導改善のポイント

◆文章を書くときには、自分の考えが伝わるように書き表し方の指導を工夫します。

- ① 「事実」と「考え」とを区別して（「事実」と「考え」を混同して書いていないか）書き表すように指導します。
「事実」…実際に起きたこと、だれが見ても明らかなこと
「考え」…その人が考えたことや創造していること、人によって違うこと
→「事実」が「考え」を裏付けるものになっているかどうかを確認します。
- ② 「思ったこと（考えたこと）」と「その理由」を書き分けるように指導します。
「なぜかという」と「その理由は」や「～からです」など、思考そのものに関わる語句を例示し、自分の考えとその根拠を明確にします。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の關係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置關係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の關係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 球の直径の長さと同立方体の一辺の長さの關係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことはよくできています。【図形】
- 示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断することはよくできています。【データの活用】
- 直径の長さ、円周の長さ、円周率の關係についての理解はよくできています。【図形】
- 速さが一定であることを基に、道のりと時間の關係について考察することはよくできています。【変化と關係】
- 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述することはよくできています。【データの活用】
- 除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの關係についての理解はよくできています。【数と計算】
- 除数が小数である場合の除法の計算をすることはよくできています。【数と計算】
- 速さの意味についての理解はよくできています。【変化と關係】
- 簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することはよくできています。【データの活用】
- 直方体の見取図について理解し、かくことはよくできています。【図形】
- 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述することはよくできています。【数と計算】

◆課題のある点

- 円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることに課題がありました。【データの活用】

今後の具体的な指導改善のポイント

◆基礎・基本となる知識および技能を確実に習得できるよう指導を工夫します。

- 例として、今回の調査問題で誤答が多かった円グラフの目盛りを数えるときには、目盛りを1%ずつ数えていく方法や、5%または10%ずつの目盛りを先に数えてから1%ずつの目盛りを数える方法、項目と項目の区切りの数値を読み取って計算する方法などを使い分けながら、割合を読み取ることができるように指導します。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、楽しみながら学習を進めることができますか。→(「とてもそう思う」と回答した割合…全国比+16.5)
- 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。→(「3時間以上」と回答した割合…全国比+15.9)
- 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなりますか。→(「とてもそう思う」と回答した割合…全国比+15.1)
- 放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか。
→(「家で勉強や読書をしている」と回答した割合…全国比+11.9)
- 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、自分のペースで理解しながら学習を進めることができますか。→(「とてもそう思う」と回答した割合…全国比+11.7)
- 英語の勉強は好きですか。→(「当てはまる」と回答した割合…全国比+10.3)

◆本校の課題と思われるところ

- 国語の解答時間は十分でしたか。→(「時間が余った」と回答した割合…全国比-5.0)
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。→(「できている」と回答した割合…全国比-1.2)

生活について

◆本校のよかったところ

- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。→(「当てはまる」と回答した割合…全国比+8.2)
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
→(「当てはまる」と回答した割合…全国比+7.0)
- 放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか。
→(「家族と過ごしている」と回答した割合…全国比+6.0)
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。
→(「よくある」と回答した割合…全国比+5.2)

◆本校の課題と思われるところ

- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
→(「当てはまる」と回答した割合…全国比-10.1) ※「どちらかといえば当てはまる」を合わせると全国と同程度。
- 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。→(「している」と回答した割合…全国比-9.1)
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。→(「している」と回答した割合…全国比-7.6)

今後の具体的な取組について

- 日常の授業等において、自分の考えをまとめ、発表・表現する場面でICT機器をさらに活用し、自ら課題解決に取り組む学習活動をすすめていきます。
- いじめを許さない学校づくり、学級づくりをすすめます。児童一人ひとりを大切にする人権教育の基盤に立って、多様性を尊重し、お互いを思いやり、人権を大切にする指導を、道徳科や体験活動、学級会での話し合い等での充実を図ります。

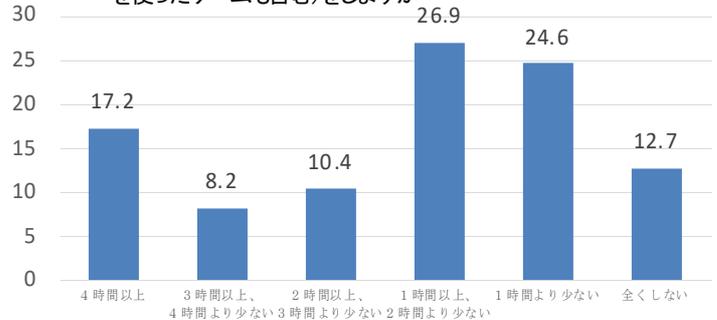
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1 ゲームは時間を決めてやりましょう

ゲームをやるときは、ゲームの「終わりの時刻」を決めるようにして、適度に楽しむようにしましょう。特に、夜間に長時間ゲームをすることによって、睡眠時間が短くなり、生活リズムが崩れる可能性もありますので注意しましょう。

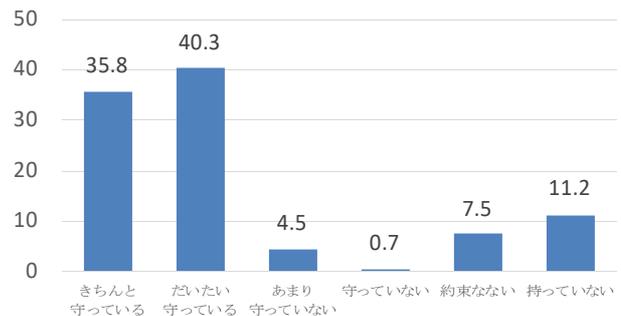
普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



2 スマホの使い方を話し合いましょう

スマホを通じていじめや誹謗中傷につながるケースや、写真の投稿から犯罪に巻き込まれるケースなどのトラブルは実際に起こっています。スマホの安全な使い方を教えたり、フィルタリングを設定したりするなどの対策を行きましょう。

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

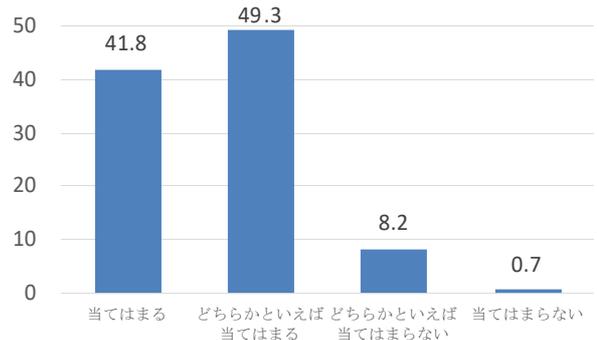


3 みんなで支え合いましょう

これからは多様性の時代です。多様な人たちを認め合い、助け合いながら共生社会を形成していくことが大切です。

困っている人がいたら進んで助けてあげましょう。みんなで支え合いながら生活していきましょう。

人が困っているときは、進んで助けていますか

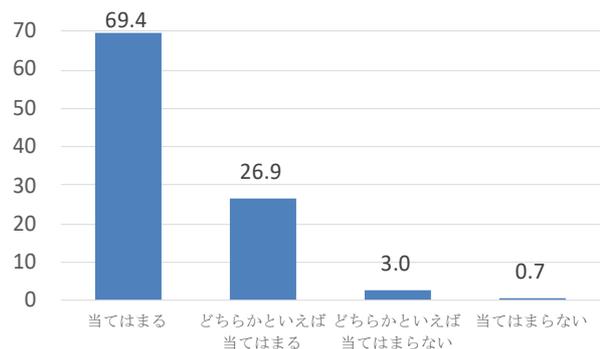


4 いじめを防止しましょう

ネットいじめやLINE いじめなど、いじめの内容は複雑化しています。

いじめは、いじめられる方が悪いのではないということや、周りとは違うからといって攻撃してよいということはありません。お互いを認め合う気持ちを育てていきましょう。

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



(案)

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



令和6年12月

海老名市立杉本小学校

小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができる。
- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。
- 文の中における主語と述語の関係を捉えることができる。
- 登場人物の相互関係や心情などについて、描写をもとに捉えることができる。

◆課題のある点

- 目的や意図に応じて、事実と感想・意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 児童が自分の考えをより明確にし、相手にわかりやすく伝える文を書くために「ワークシート」などを活用した指導をしていく。
- 紹介文、提案文、物語文などの文章の種類やそれらの文章の特徴について、意識的に区別できるよう指導していく。
- 物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるように指導していく。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の關係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置關係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の關係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 除法の計算(除数が小数)をすることができる。
- 速さが一定であることをもとに、道のりと時間の關係について考察することができる。
- 円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができる。
- 簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができる。

◆課題のある点

- 時速・分速など速さの意味について理解している。
- 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述する。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 既習の公式「速さ＝道のり÷時間」「道のり＝速さ×時間」に数値を当てはめて、式が成り立つことを確かめたり、単位を置き換えて計算したりするなどの練習を反復して行っていく。
- 他教科の中でも、具体的な場面において表や折れ線グラフを用いて、伴って変わる二つの数量の変化の様子を表したり、変化の特徴を読み取ったりすることができるように指導していく。
- 算数に対して苦手意識を持っている児童には、「情報を読み取る力」と「共通点と相違点を見つける力」を養っていく。そのために、日常生活の中に算数を取り入れ、楽しみながら学べるような環境をつくっていく。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「国語の勉強は大切だと思いますか」の質問に対して、ほぼ全員が「大切だと思う」と答えている。また、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」に対して多くの児童が「はい」と答えている。国語の学習に前向きに取り組もうとする姿勢がうかがえる。
- 「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えていますか」の質問に対して、「考える」と答えた児童の割合が高くなっている。また、「算数の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」に対し、「考える」と答えた児童の割合も高くなっており、算数の学習に意欲的に、粘り強く取り組んでいる姿がうかがえる。

◆本校の課題と思われるところ

- 「学習した内容について、分かった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問に対し、「できている」と答えた児童の割合がやや低くなっている。
- 「わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」に対し「できている」と答えた児童の割合がやや低くなっている。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に、多くの児童が「当てはまる」と答えている。
- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」に質問に、多くの児童が「はい」と答えている。また、「友達関係に満足していますか」の質問にも多くの児童が「はい」と答えている。学校生活を通して、友達との関係を深めていっていることがうかがえる。

◆本校の課題と思われるところ

- 「将来の夢や目標を持っていますか」に対し「はい」と答えた児童の割合がやや低くなっている。

今後の具体的な取組について

- 学習については、可能な範囲でペア学習、グループ学習を取り入れ、自他の考えの違いに気づき、考えの幅を広げたり、深めたりさせる。対話を通して自分の考えを見直し、物事を多面的に考えたりすることができるような指導を行っていく。
- 将来の夢や目標については、まだ定まっていない児童が多くみられる。将来の目標の幅を広げるために、様々な職種の人と出会う機会を設け、色々な仕事に興味をもたせていく。

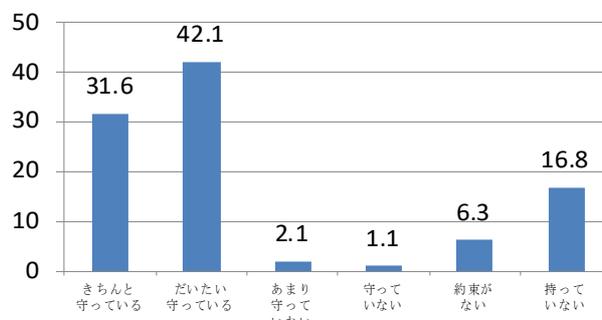
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1

ご家庭でICTの使い方について話し合ってみましょう。

児童にとってICT機器はとても魅力的な道具です。時には時間を忘れ長時間使用してしまったり、本来の目的と違う使い方をしてしまうこともあるかもしれません。ご家庭で使い方やルールについて話し合ってみましょう。

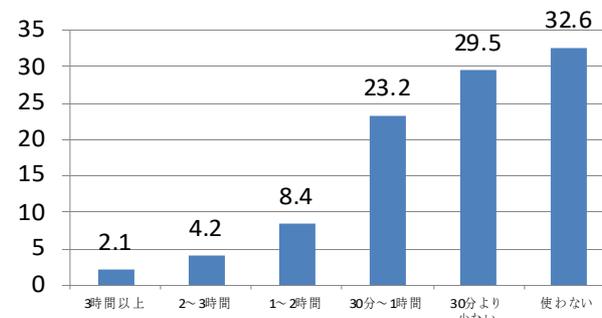


【携帯電話・スマホ・コンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか】

2

ICTを活用した学習について考えてみましょう。

主体的な学びのためにICTは有効的なツールです。今後、学校ではICTの学習への活用をさらに進めていきます。ご家庭でもどんな学習に活用できるか話し合ってみましょう。

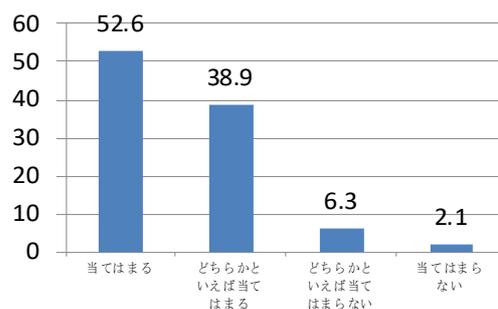


【学校の授業以外に普段1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどを勉強のために使っていますか】

3

子どものよいところを認めて褒めましょう。

褒められることで、子どもたちは自己肯定感が高まり、何事にも前向きに取り組むための自信がつきます。積極的に子どものよいところを認めて褒めていきましょう。

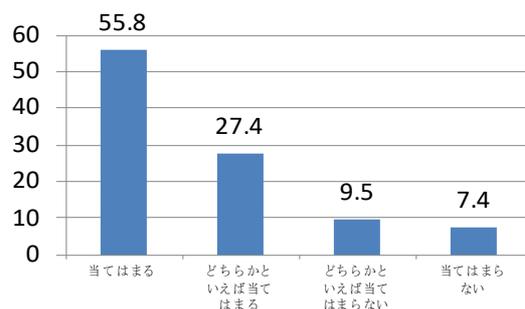


【自分にはよいところがあると思いますか】

4

夢や目標について話し合みましょう

夢や目標を明確に設定することで、今の生活をより充実させることができます。ぜひ、お子さんが将来に向けて希望を持てるようにご家庭で夢や目標について話し合みましょう。



【将来の夢や目標を持っていますか】

(案)

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



令和6年12月

海老名市立海老名中学校

中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し合いをする場面において、必要に応じて質問しながら話の内容を捉えたり、資料を用いて自分の考えがわかりやすく伝わるように話したり、意見と根拠など情報と情報との関係について理解したり、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめたりすることができるかどうかをみる。
- ・説明的な文章を読む場面において、文章と図との関係を踏まえて内容を解釈したり、具体と抽象など情報と方法との関係を理解したり、主張と例示との関係を捉えたり、目的に応じて必要な情報に着目して要約したりすることができるかどうかをみる。
- ・物語を創作する場面において、集めた材料を整理して伝えたいことを明確にしたり、文の成分の順序や照応について理解したり、文脈に即して漢字を正しく書いたり、表現の効果を考えて文章を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・短歌を紹介するための資料を作る場面において、表現の技法を理解したり、短歌の内容について描写を基に捉えたり、行書の特徴を理解したりすることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 思考力・判断力・表現力等について、特に書くことの観点ができます。
- 目的に応じて必要な情報に着目して要約することができます。
- 表現の効果を考えて描写し、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができます。
- 資料を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように話すことができるかどうかを判断することができます。

◆課題のある点

- 意見と根拠など情報と情報との関係について理解することに課題があります。
- 短歌の内容について、描写を基に捉えることができるかどうかを判断することに課題があります。
- 文章と図とを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかを判断することに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 根拠となる情報を基に考えるような問題を設定し、取り組みます。
- 語彙を増やし、言葉から作者の考えや情景を考えるような問題を設定し、取り組みます。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・数量及び数量の関係を文字式で表したり、等式を目的に応じて変形しながら数学的に処理したりすることができるかどうかをみる。
- ・事象の特徴を正確に捉えたり、筋道を立てて事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明したりして、図形の性質や関係、数に関する事象を統一的・発展的に考察することができるかどうかをみる。
- ・表やグラフなどを数学的に処理したり、数学的に表現したことを事象に即して解釈したりして、関数の関係やデータの傾向を読み取り、考察することができるかどうかをみる。
- ・簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

- どの項目においても、全国・神奈川県の正答率と比較すると、高い数値を示しています。
- 学習指導要領の領域別にみても、全体的に良い結果が得られていると考えます。その中でも、特にA領域「数と式」の正答率が高いので、基礎基本の計算能力が定着している様子がうかがえます。
- 評価の観点別にみても、「思考・判断・表現」の観点が神奈川県・全国と比較して高い値を示しています。
- 問題の形式別にみても、「記述式」の回答結果が他と比べて高いことがわかります。文章を構成する力、数学的な思考力が高まっていることが読み取れます。

◆課題のある点

- 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する力に課題があります。
- 事象を数学的に解釈し、問題解決方法を数学的に説明する力に課題があります。
- 事象に着目、観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見出す力に課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 全体的に、数学的に物事を説明する力に課題があるので、日ごろの授業から「説明する」ことに重点を置いて指導に当たります。
- 物事を解決する道筋は一つではないことに着目させ、様々な解法を話し合い、検討する機会を多く設定します。

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問では、1時間以上勉強をしている人が、全国平均より18.6ポイント上回っています。学習の積み重ねは、大きな効果を生みます。予習・復習だけでなく、自分が疑問を持った点を、積極的に調べる発展的な学習にも取り組んでいきましょう。
- 「国語・数学の授業の内容はよくわかりますか」の質問では、学年の約9割の生徒が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えており、全国平均を大きく上回っています。毎日の継続的な学習の取り組みが理解度を上げ、理解度の向上により、さらに学習に取り組む意欲を向上させるといふ好循環がなされているようです。

◆本校の課題と思われるところ

- 「将来の夢や目標を持っていますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた人が、全国平均より5.3ポイント低い結果となりました。日常の学習の中に、将来の夢や目標と関わる部分がたくさんあり、学習意欲の向上にもつながります。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた人が、全国平均よりも5.3ポイント高い結果となりました。学校生活の中で、クラスメイトとの話し合いが、本人の考えを深める良い機会になっているようです。人格形成にとって大事なこの時期の「話し合い活動」をこれからも大切にしていきたいと思います。

◆本校の課題と思われるところ

- 「友達関係に満足していますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた人が、全国平均よりも9.3ポイント低い結果となりました。人との関わりを持つ上で、相手に感謝したり、相手のよいところを積極的に認め、共に成長する姿勢を大切にしましょう。今まで気になっていた短所が気にならなくなったり、互いの関係が円滑になるはずです。

今後の具体的な取組について

- 教科、学級活動、部活動、行事など、いろいろな場面で、子どもの夢や目標、将来の自分につながることを提示します。また、自分の取り組みを振り返り、自分の得意なことや好きなことなど、将来につながる自己評価や教員からのアドバイスをする等の工夫をします。さらに、職業講話や、職場体験などの活動を通して、働く人たちの生の声を聞き、実際に体験させる活動を通して、自分の将来について考えさせる環境を用意します。
- 学級担任を中心として、子どもと関わる全ての先生が、日常のコミュニケーションを通じて、子どもの気持ちや考えに寄り添えるようにしていきます。また、面談や保護者会、懇談会等、さまざまな場面を通じて、おうちの方とお子さまの様子を共有できるようにしていきます。

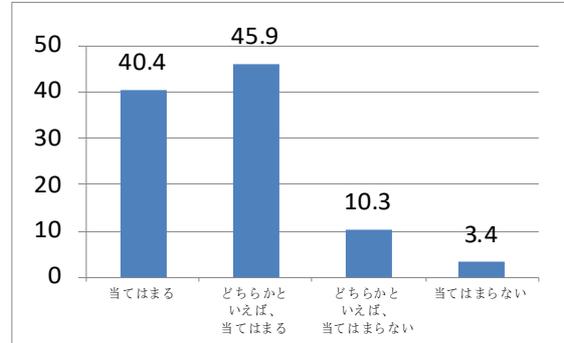
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1

子どものよいところを、積極的に褒めましょう。

日常生活の中で、自分のよいところについて、自信を持って主張できる、前向きで明るい生活が送れるように、子どものよいところ、よい行動は積極的に褒めましょう。

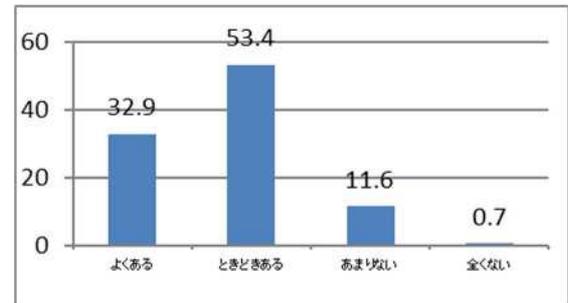


自分には、よいところがあると思いますか

2

心と体をリフレッシュできる時間を共有してください。

子どもは、普段の生活の中で様々なことを学び、経験しています。その中で不安や悩みもたくさん生まれます。明日からの生活を前向きに送れるように、ご家庭でリフレッシュできる時間を共有してください。

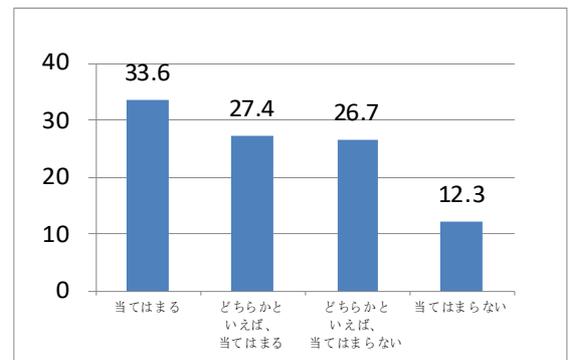


普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか

3

将来の夢や目標について、語り合しましょう。

日常の学習や生活の中には、子どもの夢や将来につながるものがたくさんあります。ご家庭でも自分の興味のあることや得意なことにたくさん触れ、将来の夢や目標について語り合ってください。

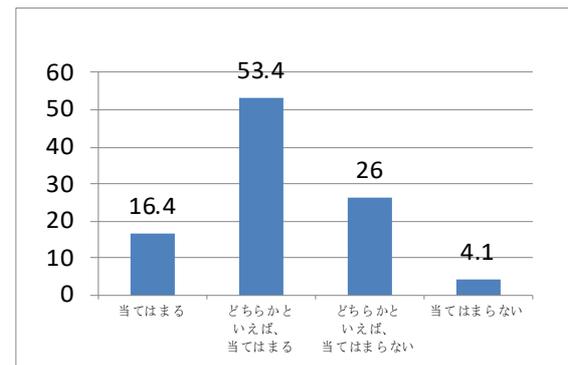


将来の夢や目標を持っていますか

4

地域の行事には積極的に参加をしましょう。

地域の方はいつもあたたかく私たちの生活を見守ってくれています。地域のボランティアや催し物など、地域の行事に積極的に参加するよう声をかけてください。



地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

(案)

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



令和6年12月

海老名市立有馬中学校

中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し合いをする場面において、必要に応じて質問しながら話の内容を捉えたり、資料を用いて自分の考えがわかりやすく伝わるように話したり、意見と根拠など情報と情報との関係について理解したり、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめたりすることができるかどうかをみる。
- ・説明的な文章を読む場面において、文章と図との関係を踏まえて内容を解釈したり、具体と抽象など情報と方法との関係を理解したり、主張と例示との関係を捉えたり、目的に応じて必要な情報に着目して要約したりすることができるかどうかをみる。
- ・物語を創作する場面において、集めた材料を整理して伝えたいことを明確にしたり、文の成分の順序や照応について理解したり、文脈に即して漢字を正しく書いたり、表現の効果を考えて文章を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・短歌を紹介するための資料を作る場面において、表現の技法を理解したり、短歌の内容について描写を基に捉えたり、行書の特徴を理解したりすることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 物語を書くために集めた材料を、取捨選択した意図を説明したものとして適切なものを選択すること。
- 話し合いの中で、発信する際に指し示している資料の部分として適切な部分を選択すること。
- 話し合いの中の発言について説明したものとして、適切なものを選択すること。
- 本文中の情報と情報との関係を説明したものとして、適切なものを選択すること。

◆課題のある点

- 話し合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考え方を書くこと。
- 漢字を書くこと。（みちたりた）
- 行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして、適切なものを選択すること。
- 短歌に用いられて表現の技法を説明したものとして、適切なものを選択すること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるように指導します。
- 文脈に即して漢字を正しく書くことができるように指導します。
- 行書の特徴を理解できるように工夫して指導します。
- 短歌の表現技法について理解を深められるように指導します。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・数量及び数量の関係を文字式で表したり、等式を目的に応じて変形しながら数学的に処理したりすることができるかどうかをみる。
- ・事象の特徴を正確に捉えたり、筋道を立てて事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明したりして、図形の性質や関係、数に関する事象を統一的・発展的に考察することができるかどうかをみる。
- ・表やグラフなどを数学的に処理したり、数学的に表現したことを事象に即して解釈したりして、関数の関係やデータの傾向を読み取り、考察することができるかどうかをみる。
- ・簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 問題場面における考察の対象を、明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算をすること。
- 与えられたデータから、最頻値を求めること。
- 二つのグラフにおける、Y軸との交点について、事象に即して解釈すること。
- グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈すること。

◆課題のある点

- n を整数とするとき、連続する二つの偶数を、それぞれ n を用いた式で表すこと。
- 一次関数の意味について理解すること。
- 確率を求めること。
- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- ある条件の下で成り立つ事柄を見だし、それを数学的に表現する活動を充実させる指導をします。
- 一次関数の理解を深めるために、式とグラフの特徴を関連付けて、的確に捉えられるように指導します。
- 確率についての知識の実態を把握し、正しい解釈を指導します。
- 判断の理由を説明するために、データの傾向を的確に捉える活動を充実させる指導をします。

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

○「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」について、「当てはまる」と答えた生徒が県の平均を上回っています。また、「国語の授業は好きですか」と、「国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解していますか」について、「当てはまる」と答えた生徒が全国と県の平均を上回っています。

◆本校の課題と思われるところ

○「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」について、「週3回以上」と答えた生徒の割合が、全国と県の平均を下回っています。また、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」について、「当てはまる」と答えた生徒の割合が、全国と県の平均を下回っています。

生活について

◆本校のよかったところ

○「携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」について「きちんと守っている」と答えた生徒の割合が、全国と県の平均を上回っています。また、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」について「当てはまる」と答えた生徒の割合が、県の平均を上回っています。

◆本校の課題と思われるところ

○「朝食を毎日食べていますか」や「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」について、「している」と答えた生徒の割合が、全国と県の平均を下回っています。また、「健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立っていますか」について、「している」と答えた生徒が全国と県の平均を下回っています。

今後の具体的な取組について

○有馬中学校の学校教育目標「一人ひとりが生涯にわたって豊かな人生を送るために、自ら学び、自己の人格を磨き、仲間と関わる中で心身を高めあう学校～たくましく しなやかな人に～」をもとに、職員全員でユニバーサルデザインを取り入れ、生徒一人ひとりが主体的な深い学びができる授業を研究し、実践していきます。

○体育祭・合唱祭で生徒自らが計画・運営をすることで、主体性(自立)や協調性(協働)を身につけられるよう指導します。また、3学年ともに協力して活動することにより、社会性を育成します。

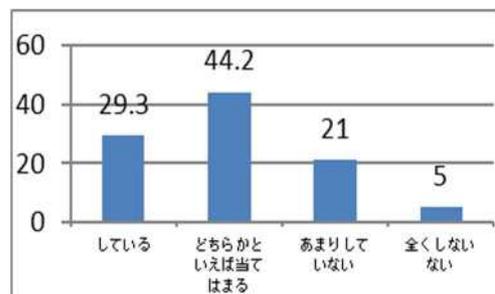
○支援体制を組織的に行い、人間関係や個人の悩みに対して相談活動を充実させ、丁寧に対応していきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1 いつも規則正しい生活を心がけましょう

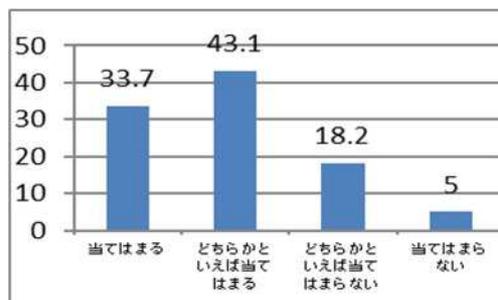
子どもの成長には、「早寝早起き朝ごはん」といわれるように、十分な睡眠、バランスのとれた食事、適度な運動など規則正しい生活習慣が大切です。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

2 自尊感情を高める対話をしていきましょう

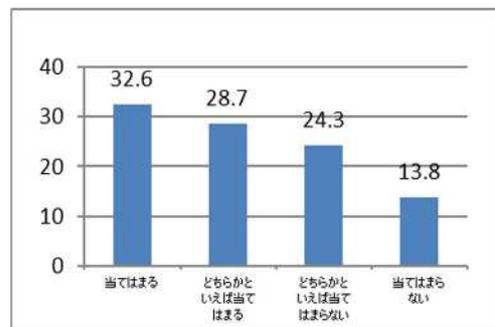
自分に自信を持ち、物事に対して前向きな気持ちで取り組むようになる上で、「自尊心」や「自己肯定感」を持つことは重要です。ご家庭の中でも、自信の高まる対話が持たれると良いと思います。



自分にはよいところがあると思いますか

3 将来の夢や目標について話し合ってみましょう

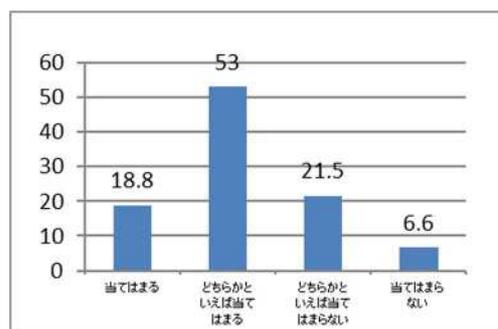
夢や目標を持つと、勉強することを楽しみや意義を感じるようになります。夢や目標を語り合うことで、子どもたちは進むべき方向が見えてきて、日々の生活に活気が生まれることにも繋がります。



将来の夢や目標を持っていますか

4 地域と共にある学校、地域に貢献できる生徒

お住いの地域の「行事」や「自治会活動」、「地域ボランティア」などに積極的に参加してみましょう。成長期の子どもの貴重な「自己成長」や「学びの機会」になると思います。



地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

(案)

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



令和6年12月

海老名市立海西中学校

中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し合いをする場面において、必要に応じて質問しながら話の内容を捉えたり、資料を用いて自分の考えがわかりやすく伝わるように話したり、意見と根拠など情報と情報との関係について理解したり、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめたりすることができるかどうかをみる。
- ・説明的な文章を読む場面において、文章と図との関係を踏まえて内容を解釈したり、具体と抽象など情報と方法との関係を理解したり、主張と例示との関係を捉えたり、目的に応じて必要な情報に着目して要約したりすることができるかどうかをみる。
- ・物語を創作する場面において、集めた材料を整理して伝えたいことを明確にしたり、文の成分の順序や照応について理解したり、文脈に即して漢字を正しく書いたり、表現の効果を考えて文章を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・短歌を紹介するための資料を作る場面において、表現の技法を理解したり、短歌の内容について描写を基に捉えたり、行書の特徴を理解したりすることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができています。
- 行書の特徴を理解しています。

◆課題のある点

- 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題があります。
- 表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 論説文の学習において、図との関連を考えさせていきます。
- 自分の考えを、表現効果などを考えながら描写する練習を取り入れていきます。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・数量及び数量の関係を文字式で表したり、等式を目的に応じて変形しながら数学的に処理したりすることができるかどうかをみる。
- ・事象の特徴を正確に捉えたり、筋道を立てて事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明したりして、図形の性質や関係、数に関する事象を統合的・発展的に考察することができるかどうかをみる。
- ・表やグラフなどを数学的に処理したり、数学的に表現したことを事象に即して解釈したりして、関数の関係やデータの傾向を読み取り、考察することができるかどうかをみる。
- ・簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 全領域、全観点、全問題形式において、平均正答率は、全国及び神奈川県を上回っています。
- 確率を求めること、箱ひげ図の扱いを、よく理解しています。
- 方程式の計算、一次関数の式とグラフの関係について、よく理解しています。
- 正三角形の辺や角の性質を根拠として、三角形の合同を記述式で証明することがよくできています。

◆課題のある点

- 数字の並びから、その規則性を予想し、それを説明することに課題が見られます。
- 見慣れない問題を考えることに課題が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 2年次より習熟度別少人数授業を行っていますが、個々の指導の在り方、理解を深めるための指導方法などを研究し、よりよい授業を進めていけるように努めます。
- 知識の習得や計算のスピード、正確性だけを追い求めるのではなく、問題を解決するために、方針を立てたり、筋道を立てて考えたりすることで、より深く学ぶ力が身につくように指導していきます。
- 様々な課題にチャレンジする機会を設け、いろいろな方向から思考できる力が育つように指導していきます。

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

○教科の学習内容を自己表現や身の回りの日常につなげる意識を持つ生徒がたくさんいます。
「国語の授業で自分の考えが伝わるように表現の効果を考えて文章を書いているか」「数学で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えているか」「自然の中や日常生活において理科に関する疑問を持ったり問題を見出したりすることがあるか」「スピーチやプレゼンなどまとまった内容を英語で発言する活動が行われたか」などの質問項目において、全国平均と比較して肯定的な回答が多い結果となっています。言語に関しては、学習した内容を効果的に相手に伝える工夫を意識しており、自然科学的な内容においては、身の回りのものと関連付けるように意識している生徒が多いです。

◆本校の課題と思われるところ

○ICT機器を効果的に学習に活用する取り組みが求められています。
「1. 2年生の時に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」という質問において、「週3回以上」と答えた生徒が57.7%(全国平均-6.7)でした。昨年度(令和5年度)の同項目12.3%(全国平均-48.8)と比較すれば全国平均に近づいていますが、今後もさらなる活用を研究推進していきます。

生活について

◆本校のよかったところ

○平日の学校にいる時間以外や土日など休みの日に勉強時間を確保している生徒が多いです。
平日は73.8%(全国平均+9.5)、休日は48.0%(全国平均+11.8)の生徒が、学習塾や家庭教師、インターネットなどの活用を含めて1時間以上の学習時間を確保しています。また、「全くしない」という回答も全国平均より大幅に下回っています。学校以外の学習に取り組む時間(予習や復習など)を日常生活の中にきちんと入れることが、学習内容の理解を深め定着につながる重要なところですので、この生活のリズムをくずさないことが大切です。

◆本校の課題と思われるところ

○携帯・スマホの使用に関して課題があります。
「平日に1日当たりどのくらい携帯やスマホでSNSや動画視聴をするか」という質問に1時間以上と回答した生徒が24.3%(全国平均+7.7)います。上記にあるように学習時間も確保していることを鑑みると、このSNSや動画視聴をしている時間の分だけ睡眠時間が削られているのではないかと懸念されます。

今後の具体的な取組について

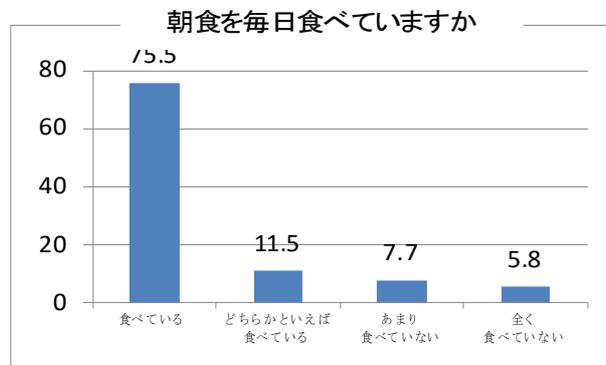
○学習活動における1人1台端末の効果的な活用に関して、引き続き研究と実践を進めていきます。
○頑張るところは頑張らせるとともに、頑張りすぎないようにきちんと休むところは休むようなリズムを生徒たちが自ら考えていくことができるよう、家庭と協力して働きかけていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

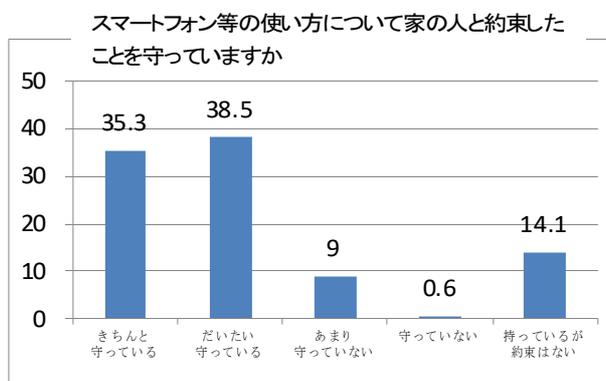
1 朝食を食べましょう。

朝食を「あまり食べていない・全く食べていない」人が約13.5%(20人強)います。午前中のエネルギー源ですので、空腹状態では学習等の効果も十分に得られない可能性があります。



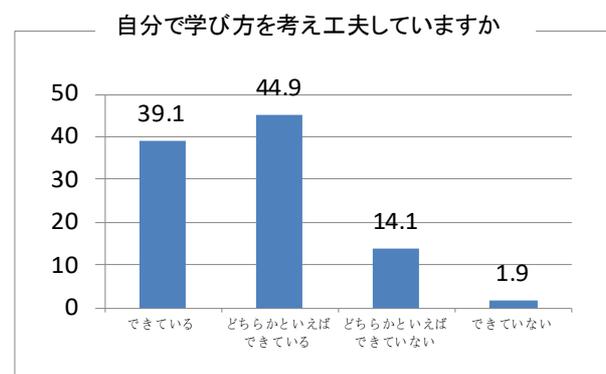
2 スマートフォン等の使用ルールの再確認をしましょう。

「約束はない」と回答している生徒が14.1%いる点が気になります。「あまり守っていない・守っていない」と合わせると23.7%となります。保護者の契約のもとで使用をしていることをご家庭でも再確認していただければと思います。



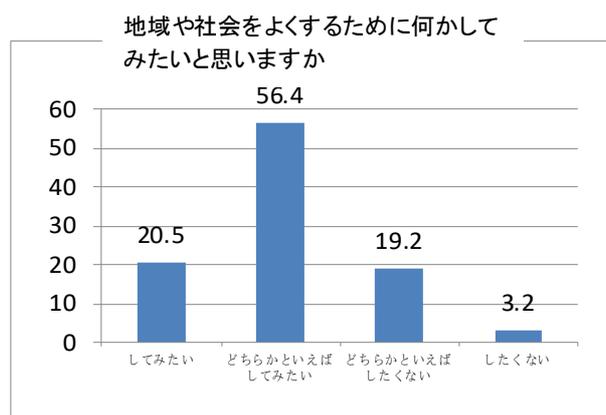
3 主体的な学びの工夫を継続しましょう。

わからないことや知りたいことに対して、自ら学び方を考えて工夫をしている生徒が多く見られます。これからもデジタルコンテンツとアナログコンテンツを上手に使いながら「主体的に学ぶ」姿勢を継続していきましょう。



4 地域や社会のことを話題にしましょう。

新型コロナウイルス感染症が5類になり、地域の行事などが戻ってきました。社会活動も対面・集合の形に戻っているものが増えています。家族や学校からさらに一歩踏み出した「地域・社会」に目を向ける機会を増やしていきましょう。



(案)

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



令和6年12月

海老名市立柏ヶ谷中学校

中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し合いをする場面において、必要に応じて質問しながら話の内容を捉えたり、資料を用いて自分の考えがわかりやすく伝わるように話したり、意見と根拠など情報と情報との関係について理解したり、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめたりすることができるかどうかをみる。
- ・説明的な文章を読む場面において、文章と図との関係を踏まえて内容を解釈したり、具体と抽象など情報と方法との関係を理解したり、主張と例示との関係を捉えたり、目的に応じて必要な情報に着目して要約したりすることができるかどうかをみる。
- ・物語を創作する場面において、集めた材料を整理して伝えたいことを明確にしたり、文の成分の順序や照応について理解したり、文脈に即して漢字を正しく書いたり、表現の効果を考えて文章を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・短歌を紹介するための資料を作る場面において、表現の技法を理解したり、短歌の内容について描写を基に捉えたり、行書の特徴を理解したりすることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 話し合いにおいて、必要に応じて質問したり資料を用いたりして話の内容を捉えることができます。
- 具体と抽象、全体と部分などの関係に注意しながら文章を読むことができます。
- 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができます。
- 文脈に即した漢字を、その漢字の意味を正しく理解して書くことができます。

◆課題のある点

- 話し合いの話題や展開を正しく捉え、他者の発言と結び付けて自身の考えをまとめることに課題がみられます。
- 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること、図の役割を理解することに課題がみられます。
- 行書への理解に課題がみられます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 「ICTを活用した調べ学習や情報収集」「ワークシート」を通じて身に付けた知識・技能を、「グループワーク」「個別の振り返り課題や学習の反省」で思考・判断・表現できるよう指導します。これらを通じて主体的な思考に基づいた読解力の向上を図ります。
- 他者の意見と結び付けて自分の考えが表現できるよう、話し合い活動の場を増やし、より多くの考えに触れる機会を提供します。
- 文章の種類や内容、用いられている資料を適切に取り取り、それぞれの関係や意味を理解できるよう、日常生活における読書を推進するとともに、論理的読解に必要な知識・技能の向上を目指します。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・数量及び数量の関係を文字式で表したり、等式を目的に応じて変形しながら数学的に処理したりすることができるかどうかをみる。
- ・事象の特徴を正確に捉えたり、筋道を立てて事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明したりして、図形の性質や関係、数に関する事象を統合的・発展的に考察することができるかどうかをみる。
- ・表やグラフなどを数学的に処理したり、数学的に表現したことを事象に即して解釈したりして、関数の関係やデータの傾向を読み取り、考察することができるかどうかをみる。
- ・簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算をすることができます。
- 与えられたデータから最頻値を求めることができます。
- グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができます。

◆課題のある点

- 複数の集団のデータの分布傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がみられます。
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がみられます。
- 筋道を立てて考え、証明することに課題がみられます。
- 事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすことに課題がみられます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がみられたため、グループワークやペアワークを通じてお互いの考えを深め合う活動を授業に取り入れます。
- グラフから事象を数学的に捉え、解釈することについてはよい結果がみられたため、生徒間での教え合いや説明し合う活動を取り入れた授業を継続していきます。

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

○「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」に「当てはまる」と回答した生徒の割合が全国平均より約 10 ポイント程度上回っています。学校全体として取り組んでいる「主体的・対話的な学習活動」が、各教科や総合的な学習の時間などでも生かされていると考えます。

◆本校の課題と思われるところ

○昨年度と同様に、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合が全国平均より約 10 ポイント程度下回っています。生徒一人ひとりが学習した内容の定着を図るだけでなく、教員がさらに「わかりやすい授業」を意識し、生徒と対話していくことが必要と考えます。

生活について

◆本校のよかったところ

○「将来の夢や目標を持っていますか」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合が県の平均より上回っています。また、「友達関係に満足していますか」に「当てはまる」と回答した生徒の割合が県の平均より上回っています。日頃の学校生活全般にわたる教育活動の成果として、将来に展望をもち、友達関係に満足している生徒が多いと考えます。

◆本校の課題と思われるところ

○「健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立っていますか」に「している」と回答した生徒の割合が全国平均より約 10 ポイント程度下回っています。自分自身がより健康に過ごすことができるように、授業や学校で学んだことを「自分ごと」として捉え、自分自身の生活に結び付けられるよう工夫をする必要があります。

今後の具体的な取組について

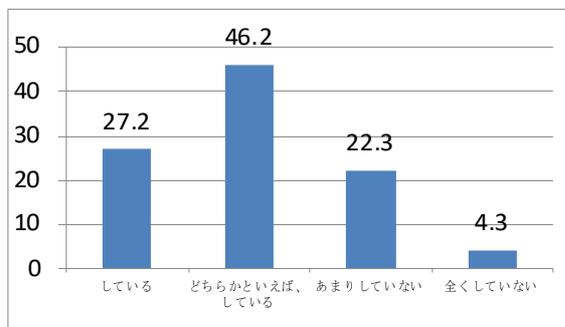
- 生徒一人ひとりが学習内容の定着を図るために、教員が「わかりやすい授業」を実現し、一人ひとりの対話の時間を大切にしていきます。
- 昨年度に引き続き、「自立」「共生」「豊かな心」の学校教育目標三本柱を具現化するため、生徒が充実感や満足感が得られるような、自治活動（行事、生徒会活動、部活動等）の取組を充実させていきます。
- 学校からスマートフォンの使用や SNS の危険性について情報発信を行い、家庭でのルールづくり等につながるよう働きかけていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1 規則正しい生活を続けていきましょう。

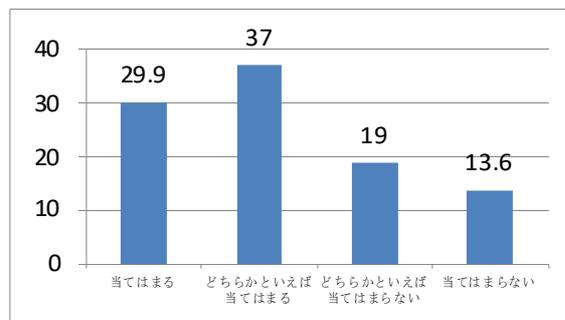
「早寝早起き朝ごはん」は生活全体のリズムを保つうえでも大切です。1日活動するための脳や体の準備ができるだけでなく、睡眠の質を高めることができます。



毎日、同じぐらいの時刻に寝ていますか

2 将来の夢や目標について、語り合きましょう。

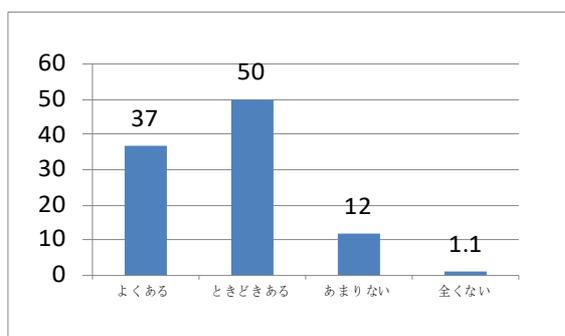
日常の学習や生活の中には、子どもの夢や将来につながるものがたくさんあります。ご家庭でも自分の興味のあることや得意なことにたくさん触れ、将来の夢や目標について語りあってみてください。



将来の夢や目標を持っていますか

3 心と体をリフレッシュできる時間を共有してください。

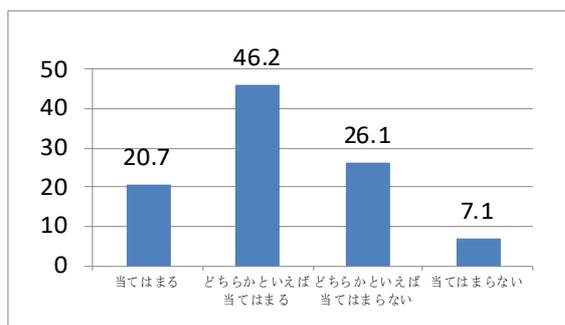
子どもは、普段の生活の中で様々なことを学び、経験しています。その中で不安や悩みもたくさん生まれます。明日からの生活を前向きに送れるように、ご家庭でリフレッシュできる時間をぜひ共有してください。



普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれぐらいありますか

4 地域や社会に貢献できるように心がけましょう。

お互いに支え合い、助けあうことで社会は成り立っています。まずは、スモールコミュニティである「地域」のボランティア活動などに積極的に参加しましょう。



地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

(案)

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和6年12月
海老名市立大谷中学校**

中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し合いをする場面において、必要に応じて質問しながら話の内容を捉えたり、資料を用いて自分の考えがわかりやすく伝わるように話したり、意見と根拠など情報と情報との関係について理解したり、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめたりすることができるかどうかをみる。
- ・説明的な文章を読む場面において、文章と図との関係を踏まえて内容を解釈したり、具体と抽象など情報と方法との関係を理解したり、主張と例示との関係を捉えたり、目的に応じて必要な情報に着目して要約したりすることができるかどうかをみる。
- ・物語を創作する場面において、集めた材料を整理して伝えたいことを明確にしたり、文の成分の順序や照応について理解したり、文脈に即して漢字を正しく書いたり、表現の効果を考えて文章を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・短歌を紹介するための資料を作る場面において、表現の技法を理解したり、短歌の内容について描写を基に捉えたり、行書の特徴を理解したりすることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 「読むこと」の分野において、文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することや目的に応じて必要な情報に着目して要約することに向上がみられ、説明的な文章を読む力がついていると言えます。
- 「書くこと」の分野において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることや文の成分や照応について理解することに向上がみられ、自分の考えが伝わるように表現を工夫して物語の一部分を書く力がついていると言えます。

◆課題のある点

- 「話すこと・聞くこと」における、話し合いの進め方の検討、考え方の形成、共有（話し合うこと）に課題がみられました。
- 「読むこと」における、文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることに課題がみられました。
- 記述式の問題形式について解答率が低く、思考・判断・表現の観点について不得手さがみられました。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 対話やグループでの協議は、日常生活や社会生活の中で頻繁に行われます。「資料を用いて自分の考えが分かりやすく伝わるように話すこと」や「話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめること」等を、生徒が日常生活や他教科での話し合いに生かすことを意識できるように指導を行う必要があります。
- 説明的な文章を読む際には、文章の中心となる部分とそれを支える例示や引用などの付加的な部分の組み合わせを理解したり、事実と意見を述べた部分の構成を理解したりといった、文章の特徴を踏まえて読むことが大切です。そのため、文章を読んで理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする学習の際に、生徒一人一人の理解や解釈が適切であるかを検討する場面を設定し、必要に応じて修正したり更新したりする指導を工夫する必要があります。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・数量及び数量の関係を文字式で表したり、等式を目的に応じて変形しながら数学的に処理したりすることができるかどうかをみる。
- ・事象の特徴を正確に捉えたり、筋道を立てて事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明したりして、図形の性質や関係、数に関する事象を統合的・発展的に考察することができるかどうかをみる。
- ・表やグラフなどを数学的に処理したり、数学的に表現したことを事象に即して解釈したりして、関数の関係やデータの傾向を読み取り、考察することができるかどうかをみる。
- ・簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 「関数」の領域が優れていました。また、式とグラフの特徴を関連付けて理解することもできていました。グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈する能力が身に付いていると言えます。
- 「図形」の領域が優れていました。特に、回転移動についての理解はできていました。また、筋道を立てて考え、証明できることから三角形の性質を理解していると言えます。
- 選択式や短答式の問題形式について解答率が高く、知識・技能の観点についてよく取り組むことができていました。

◆課題のある点

- 「数と式」の基礎的・基本的な計算技能の習得に課題がみられました。また、文字を用いた式で表すことに困難な点がみられました。
- 「データの活用」の領域では、複数の集団のデータの分布から、四分位数範囲を比較することに課題がみられました。
- 記述式の問題形式について解答率が低く、思考・判断・表現の観点について不得手さがみられました。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 数学的な表現を用いた論理的思考力を発揮して物事の課題解決を図ることは日常生活においても重要なことです。基礎的・基本的な数を文字式に表す力をもう一度見直します。問題解決場面における考察の対象を明確に捉えることができるようにするために、文章を理解する力に焦点を当てながら授業を組み立て、課題に粘り強く取り組む力を育む必要があります。
- 物事を正確に判断するために複数の集団のデータの分布から、比較や読み取りなどの分析をすることは大切な力です。こうした力を育むために生徒同士の対話の場面を作り、相互理解が深まるような取り組みを行う必要があります。
- 数学的活動において、複数の解法を見い出しながら問題の本質にせまり、構造を理解することの見通しをもったり、振り返ったりする活動を通して、主体的に取り組めるようにする必要があります。

生徒質問紙

- ※「肯定的な回答」とは、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」との合計
- ※（ ）内は、該当する質問の全国の数値

学習について

◆本校のよかったところ

○問 29「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」の問いでは、肯定的な回答が 81.3%(64.8%)を示しています。このことから、探究的な学習活動等の中で、自ら問いを立て、課題を見出し、これまでの学習経験をいかし、調べたり考えたりしたことを、他者を意識して伝えようとしていることがうかがえます。

◆本校の課題と思われるところ

○問 34「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の問いでは、肯定的な回答は 68.4%(77.9)を示しています。このことから、子どもたちが、学習活動を客観的にふりかえり、「何を学び」「何ができるようになった」のかを理解できるようにするとともに、学んだ内容や学び方を、教科横断的に他の教科(領域)等の学習活動にいかし、学びを広げたり深めたりすることに課題があることがうかがえます。

生活について

◆本校のよかったところ

○問 16「学校に行くのは楽しいと思いますか」の問いでは肯定的な回答が 81.3%(83.8%)、問 18「友達関係に満足していますか」の問いでは肯定的な回答が 87.1%(90.1%)となり、全国と同等の比較的高い割合の回答水準を示しています。また、問 17「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」では肯定的な回答が 72.2%(76.2%)を示しています。これらの回答から、子どもたちは、学校生活において、望ましい人間関係を構築するとともに、多様な他者の思いや考えを受け入れ、尊重しあい、協働的な活動を通して、ともに学び育っていこうとする姿がうかがえます。

◆本校の課題と思われるところ

○問 11「将来の夢や目標を持っていますか」の問いでは、肯定的な回答は 57.4%(66.3%)を示しています。また、問9「自分にはよいところがあると思いますか」の問いでは、肯定的な回答は 75.5%(83.5%)を示しています。これらの回答からは、子どもたちの自尊感情や自己肯定感に課題があることがうかがえます。自分の思い描く理想に対して、現状をとらえ、課題に向き合い、達成に向けて不断の努力を繰り返すことを通して、達成感や成功体験を積み重ねていくことが望まれます。

今後の具体的な取組について

○既習事項を日常生活や学習活動にいかし、学びの基礎を築くとともに、身に付けた資質・能力を、さらに広げ深めていけるよう、教科横断的な学習や体験的・探究的な学びの場面を大切にします。

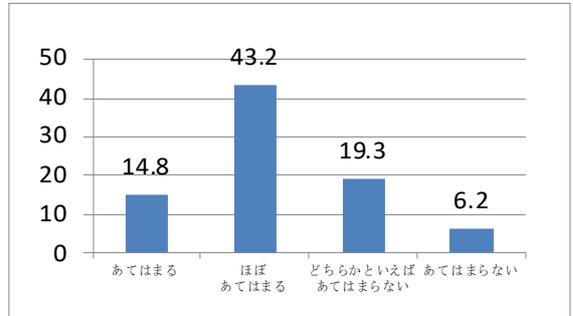
○学校行事等の多様な活動場面を通して、他者と協働的な活動を意識できるようにするとともに、自らが設定したゴールイメージに対して、前向きに取り組む姿勢を支え、成功体験を積み重ねていくことを通して、自己肯定感を高め、他者に対しても貢献できる自己有用感を育むようにします。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1 地域や社会に目を向ける機会を持ちましょう。

子どもたちが、地域や社会の一員として、多くの大人と関わった経験は、たくさんの影響を受け、そこに、夢を抱き、希望をもって日々を過ごすことにつながります。そして、私たち大人（学校・家庭・地域）が、協働的に育むことは、地域に愛着をもち、貢献していこうとする態度を育てます。これらは、役割意識や自己有用感の向上に発展します。災害時等の助け合いにも生かされるでしょう。

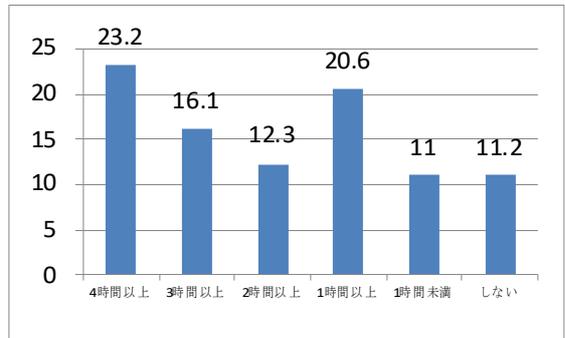


地域や社会をよくするために

何かしてみたいと思いますか

2 生活習慣を整えましょう。

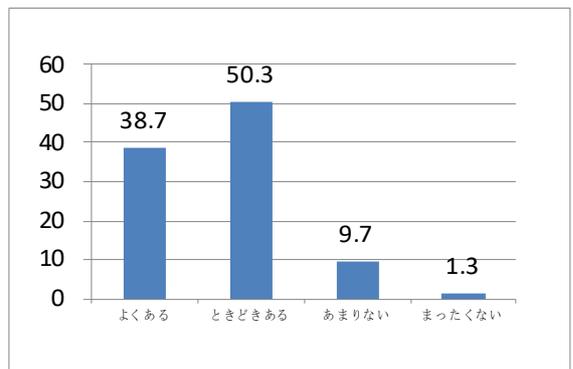
論理的思考や合理的思考が身につくといわれているゲームではありますが、長時間の使用は、視力低下、運動能力低下、睡眠不足による昼夜逆転や倦怠感などの健康課題等、子どもたちの生活様式に影響を及ぼします。ゲームや動画視聴等のルールについて、お子さまと日常的に話し合っていきましょう。



一日あたり、どれくらいゲームをしますか

3 笑顔を大切にしましょう。

最近、ウェルビーイング（Well-being）という言葉をよく耳にします。WHOでは、「肉体的にも、精神的にも、社会的にも、すべてが満たされた状態にあること」としています。子どもたち1人ひとりの心と身体をささえ、笑顔あふれる毎日過ごす中で、子どもたちの幸福感を高め、活力ある日々を送ることができるようにしていきましょう。

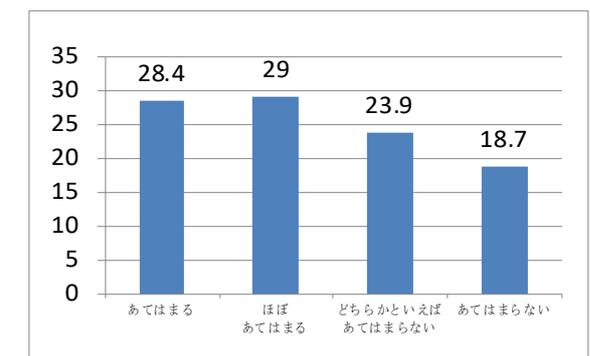


生活の中で、幸せな気持ちになる

ことはどれくらいありますか

4 未来を見据えましょう。

夢を語り合っていますか？ 夢を語ることは、進むべき進路をイメージすることにつながります。子どもたちは未来を生き、進むべき道を歩みます。今後、出会いの中で、夢や希望が変わることがあっても、夢や希望をもっていることで、前向きになり、目標を立て、実行に向けて努力することにつながります。



将来の夢や目標を持っていますか

(案)

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



令和6年12月

海老名市立今泉中学校

中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し合いをする場面において、必要に応じて質問しながら話の内容を捉えたり、資料を用いて自分の考えがわかりやすく伝わるように話したり、意見と根拠など情報と情報との関係について理解したり、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめたりすることができるかどうかをみる。
- ・説明的な文章を読む場面において、文章と図との関係を踏まえて内容を解釈したり、具体と抽象など情報と方法との関係を理解したり、主張と例示との関係を捉えたり、目的に応じて必要な情報に着目して要約したりすることができるかどうかをみる。
- ・物語を創作する場面において、集めた材料を整理して伝えたいことを明確にしたり、文の成分の順序や照応について理解したり、文脈に即して漢字を正しく書いたり、表現の効果を考えて文章を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・短歌を紹介するための資料を作る場面において、表現の技法を理解したり、短歌の内容について描写を基に捉えたり、行書の特徴を理解したりすることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。
- 文脈に即して漢字を正しく書くことができる。
- 資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができる。
- 具体と抽象など、情報と情報との関係について理解することができる。

◆課題のある点

- 全体的に、思考力・判断力・表現力のC読むことの内容と記述式の問題形式に課題が見られる。
- 意見と根拠などの情報と情報との関係について理解することに課題が見られる。
- 問題文の「解答するときの条件」を見落としている生徒が多く見られる。
- 目的に応じて、必要な情報に着目して要約することに課題が見られる。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 意見と根拠など、情報と情報の関係を理解できるように、文章を読むときや自分の意見を話したり相手の意見を聞いたりする場面で、丁寧に指導します。
- 問題に解答するときは問題文を丁寧に読み、解答に必要な条件を見落とさないように指導します。
- 文章を読むときには大切な部分に線を引かせるなどし、必要な情報に着目できるように丁寧に指導します。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・数量及び数量の関係を文字式で表したり、等式を目的に応じて変形しながら数学的に処理したりすることができるかどうかをみる。
- ・事象の特徴を正確に捉えたり、筋道を立てて事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明したりして、図形の性質や関係、数に関する事象を統合的・発展的に考察することができるかどうかをみる。
- ・表やグラフなどを数学的に処理したり、数学的に表現したことを事象に即して解釈したりして、関数の関係やデータの傾向を読み取り、考察することができるかどうかをみる。
- ・簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- すべての領域において、全国や県に比べ正答率が高く、計算問題を解く力は概ね身についている。
- 特にA数と式、C関数、Dデータの活用の領域は、平均正答率が60%を超え、中でもC関数の領域の「グラフの交点における事象に即して解釈する問題は正答率が88%と高い。

◆課題のある点

- B図形の領域は、全国や県より正答率は上回っているものの、角の大きさについて説明をする問題に関しては、正答率が36%となっている。角の大きさに着目し、問題解決の過程や結果を振り返りながら、新たな性質を見出すこと等に課題が見られる。

今後の具体的な指導改善のポイント

- A数と式の領域に関しては、計算問題を解く力をさらに伸ばしつつ、正答率がやや低かった「 n を整数として、連続する2つの偶数の表し方」等、文字の式に関する学習内容を再確認します。
- B図形の領域に関しては、証明の流れを再確認するとともに、既習事項を用いて新たな課題を解決する力を育てられるよう授業改善を図ります。

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」という質問に対して「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒が92.5%いました。神奈川県平均より7ポイント上回っています。生徒同士の対話の場を設けた授業により、話し合いがよりよい学びに繋がっています。
- 「1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」という質問に対し、「発表していた・どちらかといえば発表していた」と答えた生徒が76.7%おり、全国平均と比べて11.9ポイント上回っています。生徒の表現の幅が増え、力がつき、自信をもって発表ができていると考えられます。

◆本校の課題と思われるところ

- 「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができますか」という質問に対し、「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒が全国平均で79%おり本校では74.6%でやや下回っています。生徒は、学校生活の中でたくさんの情報や経験を積みます。その中で、具体的に次の場面はこうしていこうというところまで考えが行きついていないことが考えられます。慌ただしい生活の中でも、自律に向けて、少しでも自分の考えをもったり、習慣を見直せたりできるとよいです。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「人が困っているときには、進んで助けていますか」という質問に対し、「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒が94%おり、全国平均と比べてやや上回っています。ほとんどの生徒が助けようとする気持ちをもつことができています。また、助けられないこともたくさんありますが、相手の困った様子を察することができる人はたくさんいます。助け合う気持ちをもつことで、救われる人がいます。これからも助け合う気持ちを大切にしたいです。

◆本校の課題と思われるところ

- 「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」という質問に対し、「よくある」と答えた生徒が35.1%で、全国平均と比べて、9ポイント下回っています。「ときどきある」と答えた生徒が51.9%いますが、あまりない・全くないと答えた生徒が13%います。些細なことでも幸せと感ぜられるような時間を作ったり、「楽しい」と感ぜられることを増やしたりできるとよいです。

今後の具体的な取組について

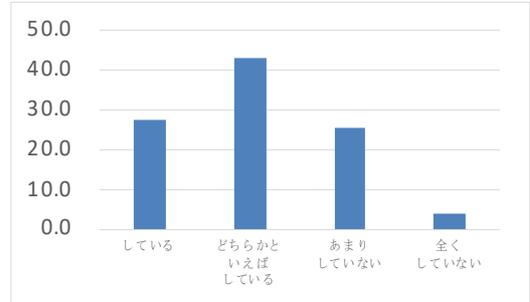
- ICT機器を活用した授業の研究を継続します。個の学習の充実を図るため、一人一台端末をより効果的に学習に生かせるようにします。加えて情報リテラシー教育を充実させます。
- 「学校などで学んでいることを、これからどう活かしていくか」ということについて、日常生活や社会とのつながりを意識した活動を進めていきます。これからの社会を生き抜く力の育成として、校内研究を進めていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1 規則正しい生活を続けましょう

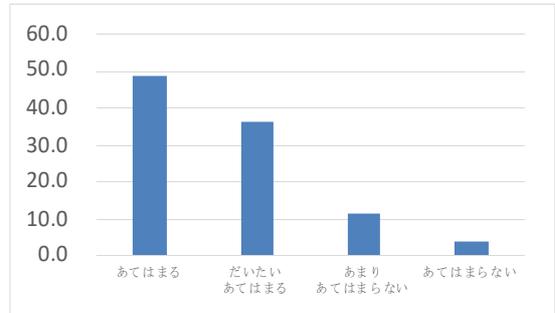
早寝早起き朝ご飯。これは生活全体のリズムを保つうえでも大切なことです。1日活動するための脳や体の準備ができやすくなります。また、睡眠の質を高めることもできます。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

2 子どもを認め、褒めましょう

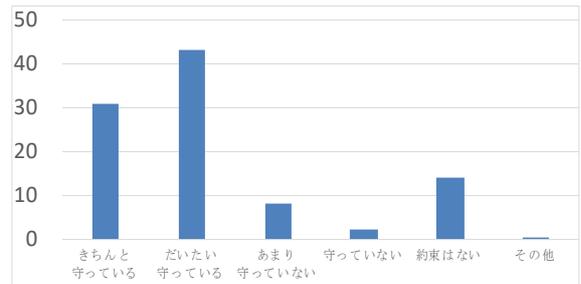
子どもを褒めることで自己有用感、自己肯定感が高まるといわれています。将来に向けて子どもが自信をもって取り組めるよう、近くの大人が積極的に褒める声を掛けていきましょう。



自分にはよいところがあると思いますか

3 スマートフォン等についてルールを知り、守れるようにしましょう

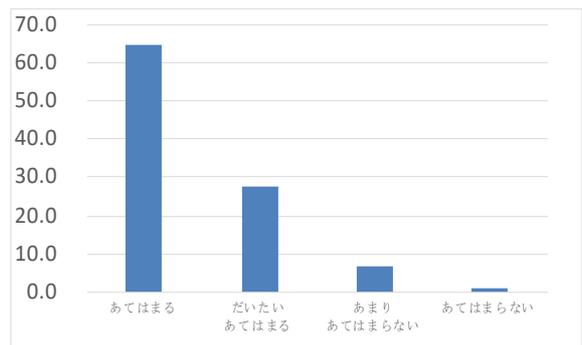
スマートフォン等、SNSで他者とやり取りをする中で、相手を傷つけたり、事件に巻き込まれたりする例が県内でも起こっています。ルールを決め、未然防止に努めましょう。



携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

4 他者を尊重する気持ちを大切にしましょう

いじめはどんな理由があってもいけないことです。わかっている、はっきりと言葉にしたり行動に移したりするのが難しいこともあるでしょう。正しい行動をためらわないよう、普段から相談し合えるようにしましょう。



いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか